

英語1 (1A)

11438

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (1B)

11547

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2A)

11426

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2B)

11428

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語1 (2C)

11434

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2D)

11432

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2E)

11433

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2F)

11435

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語1 (2G)

11548

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2H)

11549

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2I)

11550

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2J)

11546

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語1 (2K)

11551

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3A)

11429

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3B)

11430

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3C)

11427

担当者名 / Instructor MULLIGAN CHRISTOPHER

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語1 (3D)

11425

担当者名 / Instructor FLANAGAN BRUCE

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3E)

11431

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3F)

11545

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3G)

11542

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語1 (3H)

11543

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3I)

11541

担当者名 / Instructor MULLIGAN CHRISTOPHER

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3J)

11544

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (4A)

11540

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語1 (5A)

11424

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (KA)

11437

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (KB)

11436

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (KC)

11552

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語1 (KD)

11553

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聞き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。

グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるなど); ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (1A)

11505

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (1B)

11616

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2A)

11498

担当者名 / Instructor MULLIGAN CHRISTOPHER

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語2 (2B)

11497

担当者名 / Instructor SUMMERVILLE CHRIS

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2C)

11501

担当者名 / Instructor FLANAGAN BRUCE

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2D)

11502

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2E)

11503

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語2 (2F)

11504

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2G)

11621

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2H)

11620

担当者名 / Instructor GODINEZ NIEVES F.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2I)

11619

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語2 (2J)

11615

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2K)

11617

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3A)

11499

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3B)

11493

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語2 (3C)

11496

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3D)

11500

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3E)

11495

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3F)

11608

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語2 (3G)

11609

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3H)

11611

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3I)

11612

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3J)

11610

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語2 (4A)

11613

担当者名 / Instructor ROOKS MATTHEW JOHN

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (5A)

11494

担当者名 / Instructor ROOKS MATTHEW JOHN

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (KA)

11506

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (KB)

11507

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語2 (KC)

11618

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (KD)

11614

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (1A)

10663

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2A)

10659

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語3 (2B)

10815

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2C)

10660

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2D)

10816

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2E)

10661

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語3 (2F)

10817

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2G)

10662

担当者名 / Instructor 竹間 優美子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2H)

10818

担当者名 / Instructor 竹間 優美子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3A)

10809

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語3 (3B)

10810

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3C)

10811

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3D)

10656

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3E)

10657

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語3 (3F)

10658

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3G)

10812

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3H)

10813

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (4A)

10808

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語3 (5A)

10807

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (KA)

10664

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (KB)

10665

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (KC)

10666

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。

スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。

テキストの妥当性を判断できる。

知らない語句の意味を、文脈から推測できる。

英文の事実と意見を区別できる。

主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。

言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。

推論や結論を導くことができる。

グラフ、図、表などが読み取れる。

英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語4 (1A)

10907

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2A)

10914

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2B)

10734

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2C)

10904

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語4 (2D)

10735

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2E)

10905

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2F)

10736

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象: 英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2G)

10906

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語4 (2H)

10737

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3A)

10741

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3B)

10742

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3C)

10743

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語4 (3D)

10911

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3E)

10912

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3F)

10913

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3G)

10744

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語4 (3H)

10745

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (4A)

10740

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (5A)

10739

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (KA)

10908

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象: 英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



英語4 (KB)

10909

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (KC)

10915

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

&lt;対象:英語重視コース&gt; Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。

支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。

テキストの中の事実と意見を区別できる。

主題に関する著者の姿勢を理解できる。

テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。

同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

各担当者より指示します。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教科書 / Textbooks**

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (1A)

11255

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (2A)

11098

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (2B)

11104

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (2C)

11105

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



英語5 (2D)

11106

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (2E)

11251

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (2F)

11252

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (2G)

11253

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (2H)

11254

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (3A)

11094

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (3B)

11095

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (3C)

11096

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



英語5 (3D)

11246

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (3E)

11247

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (3F)

11248

担当者名 / Instructor HEALY SANDRA

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (3G)

11097

担当者名 / Instructor HEALY SANDRA

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (3H)

11249

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (4A)

11245

担当者名 / Instructor FLANAGAN BRUCE

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (5A)

11093

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (KA)

11107

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



英語5 (KB)

11108

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語5 (KC)

11256

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to: 1) understand the gist of a news report - extract factual information from a news report, 2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events 4) make a brief oral / written summary of a news item, 5) recognize characteristic features of broadcast news English

**到達目標 / Attainment Objectives**

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2010年度「外国語ハンドブック」を参照

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (1A)

11319

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (2A)

11179

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (2B)

11173

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (2C)

11172

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (2D)

11174

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (2E)

11321

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



英語6 (2F)

11322

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (2G)

11318

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (2H)

11323

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (3A)

11327

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (3B)

11326

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (3C)

11325

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (3D)

11181

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (3E)

11180

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



英語6 (3F)

11182

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (3G)

11329

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (3H)

11183

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (4A)

11328

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (5A)

11178

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (KA)

11171

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (KB)

11320

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

英語6 (KC)

11175

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course)

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

**到達目標 / Attainment Objectives**

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

-----  
 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照  
 -----

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**
**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

**参考書 / Reference Books**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

産業社会学部 2009年度「外国語ハンドブック」を参照 (ただし英語6については2010年度より変更あり)

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



## 英語音声演習1(単位回復)(Z1)

11622

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習 + 検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習 + 検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っでの聞き取り総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>  
 VOA <http://www.voanews.com/>  
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>  
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>  
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

## 英語音声演習1(単位回復)(Z2)

11655

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習 + 検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習 + 検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っ ての聞き取り総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>  
 VOA <http://www.voanews.com/>  
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>  
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>  
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

## 英語音声演習2(単位回復)(Z1)

11635

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習 + 検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習 + 検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っ ての聞き取り総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>  
 VOA <http://www.voanews.com/>  
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>  
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>  
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

## 英語音声演習2(単位回復)(Z2)

11662

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習 + 検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習 + 検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っでの聞き取り総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>  
 VOA <http://www.voanews.com/>  
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>  
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>  
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。



## 英語総合講義(単位回復)(Z1)

11623

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。  
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半:授業の概要と導入 / 後半:SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半:第1章 英語の学習 / 後半:SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半:第2章 英語の音声 / 後半:SRAリーディング実習	
第4回目	前半:第2章 英語の音声(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第5回目	前半:第3章 リーディング / 後半:SRAリーディング実習	
第6回目	前半:第3章 リーディング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第7回目	前半:第3章 リーディング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第8回目	前半:質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半:SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半:第4章 ライティング / 後半:SRAリーディング実習	
第10回目	前半:第4章 ライティング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第11回目	前半:第4章 ライティング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第12回目	前半:第4章 ライティング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第13回目	前半:第5章 発展 後半:SRAリーディング実習	
第14回目	前半:第5章 発展(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第15回目	前半:質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半:SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目)25 % 期末まとめテスト(第15回目)25 % SRA(学習記録とテスト(第15回目)50 %

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料  
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others

## 英語総合講義(単位回復)(Z2)

12476

担当者名 / Instructor 吉岡 公美子

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。  
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半:授業の概要と導入 / 後半:SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半:第1章 英語の学習 / 後半:SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半:第2章 英語の音声 / 後半:SRAリーディング実習	
第4回目	前半:第2章 英語の音声(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第5回目	前半:第3章 リーディング / 後半:SRAリーディング実習	
第6回目	前半:第3章 リーディング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第7回目	前半:第3章 リーディング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第8回目	前半:質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半:SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半:第4章 ライティング / 後半:SRAリーディング実習	
第10回目	前半:第4章 ライティング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第11回目	前半:第4章 ライティング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第12回目	前半:第4章 ライティング(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第13回目	前半:第5章 発展 後半:SRAリーディング実習	
第14回目	前半:第5章 発展(続き) / 後半:SRAリーディング実習	
第15回目	前半:質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半:SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目)25 % 期末まとめテスト(第15回目)25 % SRA(学習記録とテスト(第15回目)50 %

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料  
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others

## 英語総合講義(単位回復)(Z3)

11636

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。  
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
第4回目	前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第5回目	前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
第6回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第7回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第8回目	前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
第10回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第11回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第12回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第13回目	前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
第14回目	前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第15回目	前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目) 25 % 期末まとめテスト(第15回目) 25 % SRA(学習記録とテスト(第15回目)) 50 %

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料  
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others

## 英語総合講義(単位回復)(Z4)

12497

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。  
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
第4回目	前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第5回目	前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
第6回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第7回目	前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第8回目	前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
第9回目	前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
第10回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第11回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第12回目	前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第13回目	前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
第14回目	前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
第15回目	前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第7回目) 25 % 期末まとめテスト(第15回目) 25 % SRA(学習記録とテスト(第15回目)) 50 %

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料  
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others



## 英語特別講義(単位回復)(Z1)

10608

担当者名 / Instructor 竹間 優美子

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

口語英語や時事英語のリスニングとリーディングを通じて、基本的な英語力を身につけ、また、世界のニュースやバラク・オバマのスピーチなど記事で論じられる諸問題についての理解を深めていきます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。  
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Class Guidance	
2	Unit 1 News 1	
3	Unit 2 News 2	
4	Unit 3 News 3	
5	Unit 4 News 4	
6	Review Test 1 News 5	
7	Unit 5 News 6	
8	First Examination	
9	Unit 6 News 7	
10	Unit 7 News 8	
11	Unit 8 News 9	
12	Review Test 2 News 10	
13	Unit 9 News 11	
14	Unit 10 News 12	
15	Final Examination	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回の予習を徹底して授業に臨むこと。

学習方法のガイダンスは第一回目の講義で行う。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	70% 学習到達度試験(全二回) 30% 出席と発表

出席日数が足りない学生は、試験の有無にかかわらず、単位を認定することができない。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第一回の講義で授業ガイダンスを行い、ノート・テイキングや学習方法を提示するので、必ず受講のこと。

## 教科書 / Textbooks

授業内で指示する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## 英語特別講義(単位回復)(Z2)

11654

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

We will study English by reading and listening, and then criticizing.

We will use some charming materials, for example, interesting movies, enjoyable music and culture different from ours, exiting sports, respectable NGOs and their activities, and important world economy.

## 到達目標 / Attainment Objectives

To get used to reading and listening.

To review some important English grammar.

To get some useful information on reading skills & phonetic symbols/terms.

To get richer vocabulary.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Orientation	How to study
2	The Vegetable Orchestra	S+V Sentence Patterns
3	Saving Traditional Food	Prefix+Root+Suffix
4	The Basket Project for Aid	Transitions
5	The Culture of the Young	Comparison and Contrast
6	Charlie and the Chocolate Factory	Characters
7	Protecting Nazca	Narrative
8	Human beings and Apes	Paragraph
9	MURAKAMI Haruki	Inferences
10	Vertical Farming	Summary
11	Capoeira	Time Order
12	The Ubiquitous Bow	A Topic Sentence
13	How to Start	Supporting Information
14	Review (30 minutes) Final Test (60 minutes)	Vocabulary
15	People on the Move Hot Coffee	Be critical.

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	60% Attendance, Hard working, Contribution to class activities, "Short Writing on the Topic" in class. 40% Paper Test in the 14th (second last) lecture

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study English hard every class.

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Reading Wizard	寺内正典、小磯敦、飯野厚、小野尚美、Jeffrey K. Hubbell、柿原直美 / 金星堂 / 978-4-7647-3903-1 /

## 参考書 / Reference Books

Available good sites for studying English are shown in class.

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.america.gov/st/usg-english/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

mail to: nst03700@pl.ritsumeai.ac.jp

その他 / Others

## 英語特別講義(単位回復)(Z3)

10632

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

NHKで放送された『ニューヨーク街物語』をもとにしたDVD教材を用いて、リスニング、リーディング作業を中心に英語力の総合的な向上を目指す。扱われているトピックは、新世代のシングルマザー、「エコ」が注目を集めたファッションショー、ヨガブーム、風船を使ったボランティア活動、食ビジネス、ハーレムの子供たちによる歌とダンスのアマチュアグループの活動等、ニューヨークの街を舞台とした様々な活動を伝えるものだ。講義を通して基本的な英語力をつけるとともに、多様な文化、価値観が共存する街の人々の生活について学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・リーディング、リスニングに力点を置きつつ、4技能の伸長を図る。
- ・大学卒業までに最低限度身につけておきたい英語運用能力を総合的に補強する。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション(授業の到達目標、進め方、成績評価等について) Unit 1 Mothers, Single by Choice	
2	Unit 2 Fragrance by Design	
3	Unit 3 Fashionably Green	
4	Unit 4 Super Dad	
5	Unit 5 Inventive New Toys	
6	Unit 6 Relaxing with Yoga	
7	Unit 7 Healing with Balloons	
8	Unit 1-7 Review (30分); 中間テスト(60分)	
9	Unit 8 Good Trash	
10	Unit 9 Pet Rescue	
11	Unit 10 Saving Art from the Big Spenders	
12	Unit 11 Tasty Business	
13	Unit 12 Musical Impact	
14	Unit 13 Flea Market, Brooklyn Style	
15	Unit 8-13 Review (30分); 期末テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間・期末テスト 60% 授業参加(小テストの受験、授業中の作業状況を確認できるワークシートの提出) 40%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
New York Streets	Tsuyoshi Kanamori他 / 金星堂出版 / 9784764738713 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

英語特別講義(単位回復)(Z4)

11661

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

We will study some English grammar, reading strategies, and some useful information about health and environment.

**到達目標 / Attainment Objectives**

To get used to reading and listening to some easy American English passages from Voice of America Special English  
In addition, to review some English grammar and vocabulary

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Vitamin D	How to read
2	Cancer	How to Listen
3	Vertical Farms	English Paragraph
4	No-Smoking City	Stress and Pitch
5	Headache	Main Idea
6	Biotechnology	Vowels
7	Anesthesia	Transitions
8	Wisdom Teeth	Content Word
9	Cleaner Coal	Supporting Information
10	Keeping Children Safe	Function Word
11	Alcohol	Summary
12	Green Rooftop	Shadowing
13	Some Pills in One	5 Sentence Patterns
14	Review (30 minutes) The Final Test (60 minutes)	Multi culture
15	Bovine Genome and African Soil	Review

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	40% Paper Test in the 14th(second last) lecture.  60% Attendance, Hard working, Contribution to class activities, Short Writing on the topic in class.

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study hard every class.

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Health & Environment from VOA: How Everyday Life Affects Global Issues	安浪誠祐, Richard S. Lavin / 松柏社 / 978-4-88198-634-9 / CD付き

**参考書 / Reference Books**

Available good sites are shown in class.

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

mail to: nst03700@pl.ritsumei.ac.jp

**その他 / Others**

## 英語読解演習1(単位回復)(Z1)

10609

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介することなく直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

## 到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力を身につける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、平日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>  
Asahi <http://www.asahi.com/>  
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>  
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>  
CNN <http://www.cnn.com/>  
USA Today <http://www.usatoday.com/>  
VOA <http://www.voanews.com/>

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

授業中に指示する。

**その他 / Others**

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。



## 英語読解演習1(単位回復)(Z2)

11624

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介することなく直接読み進めていく能力の養成を身につける。

## 到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、平日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>  
Asahi <http://www.asahi.com/>  
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>  
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>  
CNN <http://www.cnn.com/>  
USA Today <http://www.usatoday.com/>  
VOA <http://www.voanews.com/>

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

授業中に指示する。

**その他 / Others**

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

## 英語読解演習1(単位回復)(Z3)

12477

担当者名 / Instructor 西山 淳子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

## 到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、平日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>  
Asahi <http://www.asahi.com/>  
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>  
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>  
CNN <http://www.cnn.com/>  
USA Today <http://www.usatoday.com/>  
VOA <http://www.voanews.com/>

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

授業中に指示する。

**その他 / Others**

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

## 英語読解演習2(単位回復)(Z1)

10633

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

## 到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>  
Asahi <http://www.asahi.com/>  
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>  
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>  
CNN <http://www.cnn.com/>  
USA Today <http://www.usatoday.com/>  
VOA <http://www.voanews.com/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

## 英語読解演習2(単位回復)(Z2)

11637

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

## 到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、平日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>  
Asahi <http://www.asahi.com/>  
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>  
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>  
CNN <http://www.cnn.com/>  
USA Today <http://www.usatoday.com/>  
VOA <http://www.voanews.com/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。



## 英語読解演習2(単位回復)(Z3)

12496

担当者名 / Instructor 石原 浩澄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

## 到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていくことが必要です。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

## 参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>  
Asahi <http://www.asahi.com/>  
Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>  
Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>  
CNN <http://www.cnn.com/>  
USA Today <http://www.usatoday.com/>  
VOA <http://www.voanews.com/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

## スペイン語・応用I (2A)

11109

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria

A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

## 到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Presentacion. Leccion 1. El espanol en el mundo	
2	Leccion 2. Gente con gente	
3	Leccion 2. Gente: el fisico y la personalidad	
4	Leccion 2. La familia. Tu arbol genealogico	
5	Leccion 3. Planes de vacaciones	
6	Leccion 3. Gustos personales	
7	Leccion 3. Planes y proyectos.	
8	Resolucion de dudas. Prueba escrita.	
9	Leccion 4. Compras. Ropa	
10	Leccion 4. Compras. Regalos	
11	Leccion 7. Comida	
12	Leccion 5. Gente en forma. Alimentacion y deporte	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	Examen oral. Video	
15	Pelicula y debate	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- Asistencia y participacion en clase: 10% - Prueba escrita: 40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion): 50%

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
GENTE Nueva Edicion 1. Libro del alumno + CD;	Ernesto Martin Peris, Neus Sans Baulenas / Difusion / 9788484431381 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・応用I (2B)

11244

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria

A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

## 到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Presentacion. Leccion 1. El espanol en el mundo	
2	Leccion 2. Gente con gente	
3	Leccion 2. Gente: el fisico y la personalidad	
4	Leccion 2. La familia. Tu arbol genealogico	
5	Leccion 3. Planes de vacaciones	
6	Leccion 3. Gustos personales	
7	Leccion 3. Planes y proyectos.	
8	Resolucion de dudas. Prueba escrita.	
9	Leccion 4. Compras. Ropa	
10	Leccion 4. Compras. Regalos	
11	Leccion 7. Comida	
12	Leccion 5. Gente en forma. Alimentacion y deporte	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	Examen oral. Video	
15	Pelicula y debate	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- Asistencia y participacion en clase: 10% - Prueba escrita: 40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion): 50%

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
1 GENTE Nueva Edicion 1. Libro del alumno + CD;	Ernesto Martin Peris, Neus Sans Baulenas / Difusion / 9788484431381 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・応用II (2A)

11177

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria.

A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario, y practicaremos conversacion.

## 到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Leccion 6. Profesiones	
2	Leccion 6. Entrevistas. Seleccion de personal	
3	Leccion 8. Viajes. Medios de transporte	
4	Leccion 8. Viajes. Hotel, carretera y selva	
5	Leccion 9. Campo o ciudad	
6	Leccion 9. Calidad de vida.	
7	Resolucion de dudas. Prueba escrita.	
8	Leccion 10. La casa. Muebles y habitaciones	
9	Leccion 10. Como llegar a tu casa	
10	Leccion 11. Hechos recientes	
11	Leccion 11. Hechos no recientes. Experiencias personales	
12	Leccion 11. EL contraste entre pasados	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	EXAMEN ORAL. Video	
15	Bailes latinos. Merengue, bachata y salsa. Las comparaciones	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- Asistencia y participacion en clase:10% - Prueba escrita:40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion):50%

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『GENTE Nueva Edicion 1. Libro del alumno + CD』	Ernesto Martin Peris, Neus Sans Baulenas / Difusion / 9788484431381 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・応用II (2B)

11317

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria.

A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario, y practicaremos conversacion.

## 到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Leccion 6. Profesiones	
2	Leccion 6. Entrevistas. Seleccion de personal	
3	Leccion 8. Viajes. Medios de transporte	
4	Leccion 8. Viajes. Hotel, carretera y selva	
5	Leccion 9. Campo o ciudad	
6	Leccion 9. Calidad de vida.	
7	Resolucion de dudas. Prueba escrita.	
8	Leccion 10. La casa. Muebles y habitaciones	
9	Leccion 10. Como llegar a tu casa	
10	Leccion 11. Hechos recientes	
11	Leccion 11. Hechos no recientes. Experiencias personales	
12	Leccion 11. EL contraste entre pasados	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	EXAMEN ORAL. Video	
15	Bailes latinos. Merengue, bachata y salsa. Las comparaciones	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- Asistencia y participacion en clase:10% - Prueba escrita:40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion):50%

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『GENTE Nueva Edicion 1. Libro del alumno + CD』	Ernesto Martin Peris, Neus Sans Baulenas / Difusion / 9788484431381 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・基礎 (2A)

10859

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Pronunciacion アルファベット, 発音, 基数	
	第1課 名詞の性・数, 冠詞, hay	
	第2課 主格人称代名詞, ser, 国籍名詞, 疑問文と否定文	
	第3課 estar, 所有形容詞, 直説法現在規則活用	
	第4課 形容詞, irとvenir, ir a + 不定詞	
	第5課 saberとconocer, 感嘆文, hacer型動詞, 指示形容詞・代名詞	
	第6課 tener型動詞, tener que + 不定詞, 前置詞格人称代名詞, 中性指示代名詞	
	第7課 dar型動詞, 目的格人称代名詞, gustar, 不定語と否定語(algoとnada)	
	第8課 語幹母音変化動詞, 時刻の表現, 従属節	
	第9課 過去分詞, 現在完了, 曜日と日付	
	第10課 再帰動詞, se受身, 非人称表現, estar受身	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



## スペイン語・基礎 (2B)

10156

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ、二宗 美紀

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Pronunciacion アルファベット, 発音, 基数	
	第1課 名詞の性・数, 冠詞, hay	
	第2課 主格人称代名詞, ser, 国籍名詞, 疑問文と否定文	
	第3課 estar, 所有形容詞, 直説法現在規則活用	
	第4課 形容詞, irとvenir, ir a + 不定詞	
	第5課 saberとconocer, 感嘆文, hacer型動詞, 指示形容詞・代名詞	
	第6課 tener型動詞, tener que + 不定詞, 前置詞格人称代名詞, 中性指示代名詞	
	第7課 dar型動詞, 目的格人称代名詞, gustar, 不定語と否定語(algoとnada)	
	第8課 語幹母音変化動詞, 時刻の表現, 従属節	
	第9課 過去分詞, 現在完了, 曜日と日付	
	第10課 再帰動詞, se受身, 非人称表現, estar受身	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合I (3A)

10004

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Pronunciacion アルファベット, 発音, 基数	
	第1課 名詞の性・数, 冠詞, hay	
	第2課 主格人称代名詞, ser, 国籍名詞, 疑問文と否定文	
	第3課 estar, 所有形容詞, 直説法現在規則活用	
	第4課 形容詞, irとvenir, ir a + 不定詞	
	第5課 saberとconocer, 感嘆文, hacer型動詞, 指示形容詞・代名詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

後期の「スペイン語総合」でもこの教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・総合I (3B)

10014

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Pronunciacion アルファベット, 発音, 基数	
	第1課 名詞の性・数, 冠詞, hay	
	第2課 主格人称代名詞, ser, 国籍名詞, 疑問文と否定文	
	第3課 estar, 所有形容詞, 直説法現在規則活用	
	第4課 形容詞, irとvenir, ir a + 不定詞	
	第5課 saberとconocer, 感嘆文, hacer型動詞, 指示形容詞・代名詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

後期の「スペイン語総合」でもこの教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

スペイン語・総合I (3C)

11787

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Pronunciacion アルファベット, 発音, 基数	
	第1課 名詞の性・数, 冠詞, hay	
	第2課 主格人称代名詞, ser, 国籍名詞, 疑問文と否定文	
	第3課 estar, 所有形容詞, 直説法現在規則活用	
	第4課 形容詞, irとvenir, ir a + 不定詞	
	第5課 saberとconocer, 感嘆文, hacer型動詞, 指示形容詞・代名詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

後期の「スペイン語総合」でもこの教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・総合I (3D)

11692

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Pronunciacion アルファベット, 発音, 基数	
	第1課 名詞の性・数, 冠詞, hay	
	第2課 主格人称代名詞, ser, 国籍名詞, 疑問文と否定文	
	第3課 estar, 所有形容詞, 直説法現在規則活用	
	第4課 形容詞, irとvenir, ir a + 不定詞	
	第5課 saberとconocer, 感嘆文, hacer型動詞, 指示形容詞・代名詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

後期の「スペイン語総合」でもこの教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

スペイン語・総合I (3E)

10120

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Pronunciacion アルファベット, 発音, 基数	
	第1課 名詞の性・数, 冠詞, hay	
	第2課 主格人称代名詞, ser, 国籍名詞, 疑問文と否定文	
	第3課 estar, 所有形容詞, 直説法現在規則活用	
	第4課 形容詞, irとvenir, ir a + 不定詞	
	第5課 saberとconocer, 感嘆文, hacer型動詞, 指示形容詞・代名詞	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

後期の「スペイン語総合」でもこの教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・総合II (3A)

10079

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第6課 tener型動詞, tener que + 不定詞, 前置詞格人称代名詞, 中性指示代名詞	
	第7課 dar型動詞, 目的格人称代名詞, gustar, 不定語と否定語(algoとnada)	
	第8課 語幹母音変化動詞, 時刻の表現, 従属節	
	第9課 過去分詞, 現在完了, 曜日と日付	
	第10課 再帰動詞, se受身, 非人称表現, estar受身	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

予習、復習を確実にを行うこと。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /
前期の「スペイン語総合」の教科書を継続使用する。	

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



## スペイン語・総合II (3B)

10080

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第6課 tener型動詞, tener que + 不定詞, 前置詞格人称代名詞, 中性指示代名詞	
	第7課 dar型動詞, 目的格人称代名詞, gustar, 不定語と否定語(algoとnada)	
	第8課 語幹母音変化動詞, 時刻の表現, 従属節	
	第9課 過去分詞, 現在完了, 曜日と日付	
	第10課 再帰動詞, se受身, 非人称表現, estar受身	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

予習、復習を確実にを行うこと。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /
前期の『スペイン語総合』の教科書を継続使用する。	

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・総合II (3C)

11843

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第6課 tener型動詞, tener que + 不定詞, 前置詞格人称代名詞, 中性指示代名詞	
	第7課 dar型動詞, 目的格人称代名詞, gustar, 不定語と否定語(algoとnada)	
	第8課 語幹母音変化動詞, 時刻の表現, 従属節	
	第9課 過去分詞, 現在完了, 曜日と日付	
	第10課 再帰動詞, se受身, 非人称表現, estar受身	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

予習、復習を確実にを行うこと。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /
前期の「スペイン語総合」の教科書を継続使用する。	

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・総合II (3D)

11741

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第6課 tener型動詞, tener que + 不定詞, 前置詞格人称代名詞, 中性指示代名詞	
	第7課 dar型動詞, 目的格人称代名詞, gustar, 不定語と否定語(algoとnada)	
	第8課 語幹母音変化動詞, 時刻の表現, 従属節	
	第9課 過去分詞, 現在完了, 曜日と日付	
	第10課 再帰動詞, se受身, 非人称表現, estar受身	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

予習、復習を確実にを行うこと。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /
前期の『スペイン語総合』の教科書を継続使用する。	

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・総合II (3E)

10190

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第6課 tener型動詞, tener que + 不定詞, 前置詞格人称代名詞, 中性指示代名詞	
	第7課 dar型動詞, 目的格人称代名詞, gustar, 不定語と否定語(algoとnada)	
	第8課 語幹母音変化動詞, 時刻の表現, 従属節	
	第9課 過去分詞, 現在完了, 曜日と日付	
	第10課 再帰動詞, se受身, 非人称表現, estar受身	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

予習、復習を確実にを行うこと。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /
前期の「スペイン語総合」の教科書を継続使用する。	

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。	

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## スペイン語・展開 (2A)

10951

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ過去形から)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第11課 点過去(規則活用), 所有形容詞, 現在分詞, 不定詞・現在分詞 + 弱い代名詞	
	第12課 点過去(不規則活用), irとvenir(点過去), 定冠詞中性形, 序数, 天候の表現	
	第13課 線過去, 比較級, 不規則な比較級	
	第14課 過去完了, 最上級, 不定語と否定語(alguien, alguno, etc.)	
	第15課 未来, 関係代名詞que, 知覚動詞	
	第16課 接続法現在, 用法(命令, 願望), 中性の代名詞	
	第17課 irとvenir(接続法現在), 語幹母音変化動詞(接続法現在), 用法(名詞節)	
	第18課 接続法現在の用法(形容詞節, 副詞節), 接続法現在(不規則動詞), 命令法, 命令形	
	文法補足	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等 (まとめのテストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。)

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## スペイン語・展開 (2B)

10224

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ、二宗 美紀

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ過去形から)の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第11課 点過去(規則活用), 所有形容詞, 現在分詞, 不定詞・現在分詞 + 弱い代名詞	
	第12課 点過去(不規則活用), irとvenir(点過去), 定冠詞中性形, 序数, 天候の表現	
	第13課 線過去, 比較級, 不規則な比較級	
	第14課 過去完了, 最上級, 不定語と否定語(alguien, alguno, etc.)	
	第15課 未来, 関係代名詞que, 知覚動詞	
	第16課 接続法現在, 用法(命令, 願望), 中性の代名詞	
	第17課 irとvenir(接続法現在), 語幹母音変化動詞(接続法現在), 用法(名詞節)	
	第18課 接続法現在の用法(形容詞節, 副詞節), 接続法現在(不規則動詞), 命令法, 命令形	
	文法補足	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等 (まとめのテストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。)

詳しくは担当者から説明する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン語パスポート』	西川喬 / 弘学社 / 978-4-902964-58-5 /

前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



スペイン語・表現I (2A)

10016

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas.

**到達目標 / Attainment Objectives**

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en español.	
第2回	アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	自己紹介 Presentaciones.	
第4回	職業について Ocupaciones.	
第5回	家族について La familia.	
第6回	自分自身について ?Como eres?	
第7回	調子は同ですか? ?Como estas?	
第8回	レストランで En un restaurante.	
第9回	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	住居について La casa.	
第11回	住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
第13回	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

スペイン語・表現I (2B)

11681

担当者名 / Instructor FERNANDEZ SANCHEZ J.

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas.

**到達目標 / Attainment Objectives**

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en español.	
第2回	アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	自己紹介 Presentaciones.	
第4回	職業について Ocupaciones.	
第5回	家族について La familia.	
第6回	自分自身について ?Como eres?	
第7回	調子は同ですか? ?Como estas?	
第8回	レストランで En un restaurante.	
第9回	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	住居について La casa.	
第11回	住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
第13回	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

スペイン語・表現I (3A)

11788

担当者名 / Instructor FERNANDEZ SANCHEZ J.

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas.

**到達目標 / Attainment Objectives**

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en español.	
第2回	アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	自己紹介 Presentaciones.	
第4回	職業について Ocupaciones.	
第5回	家族について La familia.	
第6回	自分自身について ?Como eres?	
第7回	調子は同ですか? ?Como estas?	
第8回	レストランで En un restaurante.	
第9回	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	住居について La casa.	
第11回	住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
第13回	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

スペイン語・表現I (3B)

11792

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas.

**到達目標 / Attainment Objectives**

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en español.	
第2回	アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	自己紹介 Presentaciones.	
第4回	職業について Ocupaciones.	
第5回	家族について La familia.	
第6回	自分自身について ?Como eres?	
第7回	調子は同ですか? ?Como estas?	
第8回	レストランで En un restaurante.	
第9回	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	住居について La casa.	
第11回	住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
第13回	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

スペイン語・表現I (3C)

10121

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas.

**到達目標 / Attainment Objectives**

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en español.	
第2回	アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	自己紹介 Presentaciones.	
第4回	職業について Ocupaciones.	
第5回	家族について La familia.	
第6回	自分自身について ?Como eres?	
第7回	調子は同ですか? ?Como estas?	
第8回	レストランで En un restaurante.	
第9回	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	住居について La casa.	
第11回	住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
第13回	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

スペイン語・表現I (3D)

10113

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas.

**到達目標 / Attainment Objectives**

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
第2回	アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	自己紹介 Presentaciones.	
第4回	職業について Ocupaciones.	
第5回	家族について La familia.	
第6回	自分自身について ?Como eres?	
第7回	調子は同ですか? ?Como estas?	
第8回	レストランで En un restaurante.	
第9回	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	住居について La casa.	
第11回	住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
第13回	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

スペイン語・表現I (3E)

11691

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas.

**到達目標 / Attainment Objectives**

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
第2回	アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	自己紹介 Presentaciones.	
第4回	職業について Ocupaciones.	
第5回	家族について La familia.	
第6回	自分自身について ?Como eres?	
第7回	調子は同ですか? ?Como estas?	
第8回	レストランで En un restaurante.	
第9回	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	住居について La casa.	
第11回	住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
第13回	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## スペイン語・表現II (2A)

10076

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

## 到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1	Repaso del curso anterior 1.
第2回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2	Repaso del curso anterior 2.
第3回	人の好みと趣味について	Preferencias.
第4回	スペイン語で買い物1	De compras en español 1.
第5回	最近の出来事について話す	Hablar de acciones recientes.
第6回	過去の出来事について話す	Hablar de acciones pasadas.
第7回	提案を行う	Proponer actividades comunes.
第8回	未来について話す	Hablar del futuro.
第9回	過去について話す	Hablar del pasado.
第10回	進行中の行為について話す	Acciones en curso.
第11回	スペイン語で買い物	De compras en español 2
第12回	まとめとその他のテーマ1	Repaso 1
第13回	まとめとその他のテーマ2	Repaso 2
第14回	まとめとその他のテーマ3	Preparacion para el examen
第15回	まとめとその他のテーマ4と検証試験	Repaso y examen

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference



教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## スペイン語・表現II (2B)

11743

担当者名 / Instructor FERNANDEZ SANCHEZ J.

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

## 到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1	Repaso del curso anterior 1.
第2回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2	Repaso del curso anterior 2.
第3回	人の好みと趣味について	Preferencias.
第4回	スペイン語で買い物1	De compras en español 1.
第5回	最近の出来事について話す	Hablar de acciones recientes.
第6回	過去の出来事について話す	Hablar de acciones pasadas.
第7回	提案を行う	Proponer actividades comunes.
第8回	未来について話す	Hablar del futuro.
第9回	過去について話す	Hablar del pasado.
第10回	進行中の行為について話す	Acciones en curso.
第11回	スペイン語で買い物	De compras en español 2
第12回	まとめとその他のテーマ1	Repaso 1
第13回	まとめとその他のテーマ2	Repaso 2
第14回	まとめとその他のテーマ3	Preparacion para el examen
第15回	まとめとその他のテーマ4と検証試験	Repaso y examen

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## スペイン語・表現II (3A)

11844

担当者名 / Instructor FERNANDEZ SANCHEZ J.

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

## 到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1	Repaso del curso anterior 1.
第2回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2	Repaso del curso anterior 2.
第3回	人の好みと趣味について	Preferencias.
第4回	スペイン語で買い物1	De compras en español 1.
第5回	最近の出来事について話す	Hablar de acciones recientes.
第6回	過去の出来事について話す	Hablar de acciones pasadas.
第7回	提案を行う	Proponer actividades comunes.
第8回	未来について話す	Hablar del futuro.
第9回	過去について話す	Hablar del pasado.
第10回	進行中の行為について話す	Acciones en curso.
第11回	スペイン語で買い物	De compras en español 2
第12回	まとめとその他のテーマ1	Repaso 1
第13回	まとめとその他のテーマ2	Repaso 2
第14回	まとめとその他のテーマ3	Preparacion para el examen
第15回	まとめとその他のテーマ4と検証試験	Repaso y examen

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## スペイン語・表現II (3B)

11842

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

## 到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1	Repaso del curso anterior 1.
第2回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2	Repaso del curso anterior 2.
第3回	人の好みと趣味について	Preferencias.
第4回	スペイン語で買い物1	De compras en español 1.
第5回	最近の出来事について話す	Hablar de acciones recientes.
第6回	過去の出来事について話す	Hablar de acciones pasadas.
第7回	提案を行う	Proponer actividades comunes.
第8回	未来について話す	Hablar del futuro.
第9回	過去について話す	Hablar del pasado.
第10回	進行中の行為について話す	Acciones en curso.
第11回	スペイン語で買い物	De compras en español 2
第12回	まとめとその他のテーマ1	Repaso 1
第13回	まとめとその他のテーマ2	Repaso 2
第14回	まとめとその他のテーマ3	Preparacion para el examen
第15回	まとめとその他のテーマ4と検証試験	Repaso y examen

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## スペイン語・表現II (3C)

10191

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

## 到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1	Repaso del curso anterior 1.
第2回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2	Repaso del curso anterior 2.
第3回	人の好みと趣味について	Preferencias.
第4回	スペイン語で買い物1	De compras en español 1.
第5回	最近の出来事について話す	Hablar de acciones recientes.
第6回	過去の出来事について話す	Hablar de acciones pasadas.
第7回	提案を行う	Proponer actividades comunes.
第8回	未来について話す	Hablar del futuro.
第9回	過去について話す	Hablar del pasado.
第10回	進行中の行為について話す	Acciones en curso.
第11回	スペイン語で買い物	De compras en español 2
第12回	まとめとその他のテーマ1	Repaso 1
第13回	まとめとその他のテーマ2	Repaso 2
第14回	まとめとその他のテーマ3	Preparacion para el examen
第15回	まとめとその他のテーマ4と検証試験	Repaso y examen

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference



教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## スペイン語・表現II (3D)

10182

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

## 到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1	Repaso del curso anterior 1.
第2回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2	Repaso del curso anterior 2.
第3回	人の好みと趣味について	Preferencias.
第4回	スペイン語で買い物1	De compras en español 1.
第5回	最近の出来事について話す	Hablar de acciones recientes.
第6回	過去の出来事について話す	Hablar de acciones pasadas.
第7回	提案を行う	Proponer actividades comunes.
第8回	未来について話す	Hablar del futuro.
第9回	過去について話す	Hablar del pasado.
第10回	進行中の行為について話す	Acciones en curso.
第11回	スペイン語で買い物	De compras en español 2
第12回	まとめとその他のテーマ1	Repaso 1
第13回	まとめとその他のテーマ2	Repaso 2
第14回	まとめとその他のテーマ3	Preparacion para el examen
第15回	まとめとその他のテーマ4と検証試験	Repaso y examen

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

## 到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1	Repaso del curso anterior 1.
第2回	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2	Repaso del curso anterior 2.
第3回	人の好みと趣味について	Preferencias.
第4回	スペイン語で買い物1	De compras en español 1.
第5回	最近の出来事について話す	Hablar de acciones recientes.
第6回	過去の出来事について話す	Hablar de acciones pasadas.
第7回	提案を行う	Proponer actividades comunes.
第8回	未来について話す	Hablar del futuro.
第9回	過去について話す	Hablar del pasado.
第10回	進行中の行為について話す	Acciones en curso.
第11回	スペイン語で買い物	De compras en español 2
第12回	まとめとその他のテーマ1	Repaso 1
第13回	まとめとその他のテーマ2	Repaso 2
第14回	まとめとその他のテーマ3	Preparacion para el examen
第15回	まとめとその他のテーマ4と検証試験	Repaso y examen

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト, まとめのテスト, 授業への積極的参加, インタビュー, 等(詳しくは担当者から直接説明する)

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『!Animo!』	Lluis Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・応用I (2A)

11091

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

**到達目標 / Attainment Objectives**

センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。  
中国語の文章を読む力をアップできる。  
中国語を聞く力、話す力を向上させる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介しします。	
第2回	第1課述語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第3回	第1課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第4回	第2課主語・目的語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第5回	第2課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第6回	第3課連体修飾語(定語)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第7回	第3課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第8回	第4課を学習します。述語、主語、目的語、連体修飾語の復習と実力テストを行います。	
第9回	第5課連用体修飾語(状語)一の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第10回	第5課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第11回	第6課連用体修飾語(状語)二の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第12回	第6課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第13回	第7課「得」補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第14回	第7課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第15回	第8課を学習します。前期の復習と確認テストを行います。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『センテンスの理解と実践』	文楚雄・陳敬著 / 晃洋書房 / /

**参考書 / Reference Books**

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・応用I (2B)

11092

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

**到達目標 / Attainment Objectives**

センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。  
中国語の文章を読む力をアップできる。  
中国語を聞く力、話す力を向上させる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介しします。	
第2回	第1課述語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第3回	第1課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第4回	第2課主語・目的語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第5回	第2課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第6回	第3課連体修飾語(定語)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第7回	第3課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第8回	第4課を学習します。述語、主語、目的語、連体修飾語の復習と実力テストを行います。	
第9回	第5課連用体修飾語(状語)一の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第10回	第5課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第11回	第6課連用体修飾語(状語)二の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第12回	第6課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第13回	第7課「得」補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第14回	第7課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第15回	第8課を学習します。前期の復習と確認テストを行います。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『センテンスの理解と実践』	文楚雄・陳敬著 / 晃洋書房 / /

**参考書 / Reference Books**



参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・応用I (2C)

11250

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

**到達目標 / Attainment Objectives**

センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。  
中国語の文章を読む力をアップできる。  
中国語を聞く力、話す力を向上させる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介しします。	
第2回	第1課述語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第3回	第1課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第4回	第2課主語・目的語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第5回	第2課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第6回	第3課連体修飾語(定語)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第7回	第3課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第8回	第4課を学習します。述語、主語、目的語、連体修飾語の復習と実力テストを行います。	
第9回	第5課連用体修飾語(状語)一の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第10回	第5課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第11回	第6課連用体修飾語(状語)二の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第12回	第6課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第13回	第7課「得」補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第14回	第7課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第15回	第8課を学習します。前期の復習と確認テストを行います。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『センテンスの理解と実践』	文楚雄・陳敬著 / 晃洋書房 / /

**参考書 / Reference Books**

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・応用II (2A)

11168

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

## 到達目標 / Attainment Objectives

センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。  
中国語の文章を読む力をアップできる。  
中国語を聞く力、話す力を向上させる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
第2回	第9課結果補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第3回	第9課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第4回	第10課数量補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第5回	第10課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第6回	第11課方向補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第7回	第11課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第8回	第12課を学習します。結果補語、数量補語、方向補語の復習と実力テストを行います。	
第9回	第13課可能補語(一)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第10回	第13課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第11回	第14課可能補語(二)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第12回	第14課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第13回	センテンスの構文の総理解と実践を行います。	
第14回	センテンスの構文の総理解と実践を行います。	
第15回	第15課を学習します。後期の復習と確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『センテンスの理解と実践』	文楚雄・陳敏著 / 晃洋書房 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・応用II (2B)

11169

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

**到達目標 / Attainment Objectives**

センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。  
中国語の文章を読む力をアップできる。  
中国語を聞く力、話す力を向上させる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
第2回	第9課結果補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第3回	第9課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第4回	第10課数量補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第5回	第10課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第6回	第11課方向補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第7回	第11課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第8回	第12課を学習します。結果補語、数量補語、方向補語の復習と実力テストを行います。	
第9回	第13課可能補語(一)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第10回	第13課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第11回	第14課可能補語(二)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第12回	第14課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第13回	センテンスの構文の総理解と実践を行います。	
第14回	センテンスの構文の総理解と実践を行います。	
第15回	第15課を学習します。後期の復習と確認テストを行います。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『センテンスの理解と実践』	文楚雄・陳敏著 / 晃洋書房 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

**到達目標 / Attainment Objectives**

センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。  
中国語の文章を読む力をアップできる。  
中国語を聞く力、話す力を向上させる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
第2回	第9課結果補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第3回	第9課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第4回	第10課数量補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第5回	第10課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第6回	第11課方向補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第7回	第11課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第8回	第12課を学習します。結果補語、数量補語、方向補語の復習と実力テストを行います。	
第9回	第13課可能補語(一)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第10回	第13課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第11回	第14課可能補語(二)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
第12回	第14課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
第13回	センテンスの構文の総理解と実践を行います。	
第14回	センテンスの構文の総理解と実践を行います。	
第15回	第15課を学習します。後期の復習と確認テストを行います。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『センテンスの理解と実践』	文楚雄・陳敏著 / 晃洋書房 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**



教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## 中国語・基礎 (2A)

10708

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。  
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・基礎 (2B)

10860

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。  
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・基礎 (2C)

10861

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。  
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・総合I (3A)

10009

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・総合I (3B)

10010

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・総合I (3C)

10011

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。  
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・総合I (3D)

10017

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



## 中国語・総合I (3E)

10116

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・総合I (3F)

10118

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・総合I (3G)

10119

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・総合I (3H)

10127

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・総合II (3A)

10072

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、句型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や句型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・総合II (3B)

10073

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・総合II (3C)

10074

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・総合II (3D)

10081

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



中国語・総合II (3E)

10187

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・総合II (3F)

10188

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・総合II (3G)

10189

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・総合II (3H)

10195

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・展開 (2A)

10786

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつとり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・展開 (2B)

10950

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつとり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・展開 (2C)

10952

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 2

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつと学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日 (第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## 中国語・表現I (2A)

10007

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



## 中国語・表現I (2B)

10112

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・表現I (2C)

10114

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現I (3A)

11685

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現I (3B)

11686

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現I (3C)

11687

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現I (3D)

11688

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現I (3E)

11793

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現I (3F)

11794

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



中国語・表現I (3G)

11791

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現I (3H)

11800

担当者名 / Instructor 楊虹

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
第2週	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
第3週	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・表現II (2A)

10071

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・句型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現II (2B)

10181

担当者名 / Instructor 張 黎、田 星

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・表現II (2C)

10186

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
(コミュニケーション中国語 レベル )	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・表現II (3A)

11736

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現II (3B)

11737

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現II (3C)

11738

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



## 中国語・表現II (3D)

11739

担当者名 / Instructor 張 黎、楊 虹

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語・表現II (3E)

11850

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

中国語・表現II (3F)

11851

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現II (3G)

11852

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

中国語・表現II (3H)

11857

担当者名 / Instructor 楊 虹

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

**到達目標 / Attainment Objectives**

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『(コミュニケーション中国語 レベル )』	立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## 朝鮮語・応用I (2A)

11243

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(応用)に分かれます。応用1では、学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように対話の練習を行います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音	
第3回	文字と発音	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用 1	
第13回	用言の変則活用 1	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語・応用II (2A)

11316

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

応用 では、学んだ文法知識を基に日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学びます。実際の会話ができるように繰り返し対話の練習を行います。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはず。

## 到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾 < 1 >	
第6回	接続語尾 < 1 >、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語・基礎 (2A)

10858

担当者名 / Instructor 宋基燦、南裕恵

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から始め、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずですが。

## 到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音	
第3回	文字と発音	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用 1	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾 1、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



朝鮮語・総合I (3A)

10008

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音	
第3回	文字と発音	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用 1	
第13回	用言の変則活用 1	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

朝鮮語・総合I (3B)

10122

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音	
第3回	文字と発音	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用 1	
第13回	用言の変則活用 1	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

朝鮮語・総合II (3A)

10075

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

総合Iに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

**到達目標 / Attainment Objectives**

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総合1文法事項の復習	
第2回	総合1の文法事項の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾 1	
第6回	接続語尾 1、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

朝鮮語・総合II (3B)

10183

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

総合Iに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

**到達目標 / Attainment Objectives**

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総合I文法事項の復習	
第2回	総合Iの文法事項の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾 1	
第6回	接続語尾 1、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## 朝鮮語・展開 (2A)

10949

担当者名 / Instructor 宋 基燦、南 裕恵

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

基礎で学んだ文法知識をよりいっそう確実なものにするとともに、朝鮮語の会話の基本として重要な尊敬形や連体形など、新しい文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで

## 到達目標 / Attainment Objectives

学習した文法知識を用いてある程度まとまった文章を書き、朝鮮語で書かれた簡単な文章が読めるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語・表現I (2A)

10006

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで

## 到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音	
第3回	文字と発音	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用 1	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾 1、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語・表現I (3A)

11693

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで

## 到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音	
第3回	文字と発音	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用 1	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾 1、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語・表現I (3B)

11786

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで

## 到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音	
第3回	文字と発音	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用 1	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾 1、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



## 朝鮮語・表現II (2A)

10077

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

## 到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語・表現II (3A)

11742

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

## 到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語・表現II (3B)

11846

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

## 到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中級ハングル コミュニケーションのために	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 授業の概要 / Course Outline

- 1 回生の「基礎」「展開」で学習したドイツ語の基本知識とスキルを確実なものにするともに、さらに発展させることを目標とした授業です。
- 1、ドイツ語検定(独検)の過去問題集の中から長文を選び、毎回一問ずつ解いてゆきます。4, 3, 2級の問題へと、順番にレベルアップしてゆきましょう。
  - 2、Tageszeitung(僕が見る限り、ドイツで出ている新聞で最もやさしい新聞です)の見出し部分を毎週読みましょう。その週の新聞の中から、一番面白そうなものを選んで教室へ持ってゆきますので。
  - 3、ZDF(日本のNHKにあたるドイツの公共テレビ)のニュースを毎回少しずつ聞きながら、耳の訓練もしましょう。ニュースを活字に起こしたテキストを作っております。4週間くらいで一話を終われると思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・簡単なテキストを読んで理解できるようになる
- ・辞書の取り扱いに習熟し、すこし長い文章でも辞書を引ながら理解できるようになる
- ・簡単なテレビのニュースを、耳で聞いて分かるようになる。
- ・ドイツの歌を、なにか歌えるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	2009年度版、独検の過去問題集から、 4級、春期、その1(31頁)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その1)。	形容詞の格変化、関係代名詞、sich、接続法など、むづかしい文法事項については、適切な時期を見てプリントを配ります。
2	4級、春期、その2(33頁)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その2)。	
3	4級、秋季(61頁)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その3)。	
4	3級、春期、その1(89頁)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その4)。	
5	3級、春期、その2(91頁)。 今週の新聞、ZDF(第二話、その1)。	
6	3級、秋期、その1(118頁)。 今週の新聞、ZDF(第二話、その2)。	
7	3級、秋期、その2(121頁)。 今週の新聞、ZDF(第二話、その3)。	
8	2008年度版、独検、過去問題集から。 4級、春期、その1(7頁)とその2(9頁)。 (授業をとる皆さんのレベルを見て、もし4級の問題が簡単すぎて必要ないなら、3級、2級に移ります。そのあたりは臨機応変に判断します。) 今週の新聞、ZDF(第二話、その4)。	
9	4級、秋期、その1(35頁)とその2(37頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その1)。	
10	3級、春期、その1(65頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その2)。	
11	3級、春期、その2(66頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その3)。	
12	3級、春期、その3(67頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その4)。	
13	3級、秋期、その1(97頁)。 今週の新聞、ZDF(第四話、その1)。	
14	3級、秋期、その2(99頁)。 今週の新聞、ZDF(第四話、その2)。	
15	学習事行のチェックとまとめ。到達度検証テスト。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

---

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

**教科書 / Textbooks**

プリントを配ります。

**参考書 / Reference Books**

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

**その他 / Others**

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

前期の「応用」に引き続き、1回生の「基礎」「展開」で学習したドイツ語の基本知識とスキルを確実なものにするるとともに、さらに発展させることを目標とした授業です。

- 1、独検の過去問題集は、2級と1級へ進みます。
- 2、新聞 Tageszeitung も読み続け、
- 3、ZDFも、聞き続けましょう。

語学は「習うより慣れる」ですから、地道な積み重ねは必ず大きな花を咲かせます。

**到達目標 / Attainment Objectives**

- ・簡単なテキストを読んで理解できるようになる。
- ・辞書の取り扱いに習熟し、すこし長い文章でも辞書を引ながら理解できるようになる。
- ・簡単なテレビニュースなら、聞いて分かるようになる。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	2009年度版、独検、過去問題集より 二級、その1(128ページ)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その1)	
2	二級、その2(130頁)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その2)。	
3	二級、その3(132頁)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その3)。	
4	二級、その4(134頁)。 今週の新聞、ZDF(第一話、その4)。	
5	2007年度版、独検、過去問題集から、 二級、その1(126頁)。 今週の新聞、ZDF(第二話、その1)。	
6	二級、その2(128頁)。 今週の新聞、ZDF(第二話、その2)。	
7	二級、その3(130頁)。 今週の新聞、ZDF(第二話、その3)。	
8	二級、その4(132頁)。 今週の新聞、ZDF(第二話、その4)。	
9	2006年度版、独検、過去問題集から、 二級、その1(120頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その1)	
10	二級、その2(122頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その2)。	
11	二級、その3(124頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その3)。	
12	二級、その4(126頁)。 今週の新聞、ZDF(第三話、その4)。	
13	2008年度版、独検、過去問題集から、 一級、その1(170頁)。 今週の新聞、ZDF(第四話、その1)。	
14	一級、その2(172頁)。 今週の新聞、ZDF(第四話、その2)。	
15	学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配ります。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## ドイツ語・基礎 (2A)

10154

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化、人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を、語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、曜日・月・季節などを学びます。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とアルファベット、簡単な挨拶
2 - 3	Lek.1A Wie heißt du?	平叙文と疑問文、人称代名詞、規則変化動詞、数詞(1~19)
4 - 7	Lek.1B Hast du morgen Abend Zeit?	sein・haben、定動詞の位置、挨拶と自己紹介、専攻の名称
8 - 10	Lek.2A Dann nehme ich den Käsekuchen.	名詞と冠詞の格と性(1格と4格)、数詞(~100)、値段の表現
11 - 14	Lek.2B Das ist meine Familie.	名詞の複数、所有冠詞・否定冠詞、家族の紹介、職業と趣味の語彙
15 - 16	Lek.3A Midori fährt nach Kassel.	不規則動詞の現在人称変化、命令と依頼の表現、時刻の表現
17 - 19	Lek.3B "Rotkäppchen" gefällt mir besonders gut.	疑問詞、3格・2格、定冠詞類、人称代名詞
20 - 24	Lek.4A Dresden liegt an der Elbe.	前置詞の格支配、曜日・月・季節の名称
25 - 28	Lek.4B Ich rufe dich an.	話法の助動詞、分離動詞
29 - 30	前期の学習事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『シュトラッセ・ノイ』	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / 978-4-255-25297-1 C1084 /

このテキストは次年度、2回生の「応用」でも引き続き使用する予定です。

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



## ドイツ語・総合I (3A)

11789

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2 - 3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4 - 5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6 - 7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8 - 10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11 - 12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13 - 14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
担当者作成のテキスト(簡易製本で安価)を最初 の授業で頒布	///

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語・総合I (3B)

10013

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2 - 3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4 - 5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6 - 7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8 - 10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11 - 12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13 - 14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
担当者作成のテキスト(簡易製本で安価)を最初 の授業で頒布	///

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語・総合I (3C)

11689

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2 - 3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4 - 5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6 - 7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8 - 10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11 - 12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13 - 14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
担当者作成のテキスト(簡易製本で安価)を最初の授業で頒布	///

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語・総合I (3D)

10123

担当者名 / Instructor 高木 敏美

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2 - 3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4 - 5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6 - 7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8 - 10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11 - 12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13 - 14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
担当者作成のテキスト(簡易製本で安価)を最初 の授業で頒布	///

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語・総合II (3A)

11847

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

「総合」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひとつと学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合」で学習した事項の確認	
2 - 3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、梓構造
7 - 9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12 - 13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「総合」に引き続き担当者編集テキストを使用	///

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

ドイツ語・総合II (3B)

10068

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

「総合」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

**到達目標 / Attainment Objectives**

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合」で学習した事項の確認	
2 - 3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、梓構造
7 - 9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12 - 13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「総合」に引き続き担当者編集テキストを使用	///

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## ドイツ語・総合II (3C)

11734

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

「総合」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合」で学習した事項の確認	
2 - 3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、梓構造
7 - 9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12 - 13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「総合」に引き続き担当者編集テキストを使用	///

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

ドイツ語・総合II (3D)

10192

担当者名 / Instructor 高木 敏美

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

「総合」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

**到達目標 / Attainment Objectives**

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合」で学習した事項の確認	
2 - 3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、梓構造
7 - 9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12 - 13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「総合」に引き続き担当者編集テキストを使用	/ / /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**



## ドイツ語・展開 (2A)

10225

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

「基礎」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な文法事項をひとつおりの学習し、独和辞典を引きながら関係代名詞や接続詞を含む少し長い文章を読めるレベルに到達することを目標とします。また、基本的な語彙を使った短い文章を発話でき、書けるようになることを目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「基礎」で学習した事項の確認	
2 - 4	Lek.5A Was hast du in den Sommerferien gemacht?	動詞の3基本形、現在完了
5 - 7	Lek.5B Wann warst du in Köln?	過去人称変化、接続詞と副文、副詞句
8 - 11	Lek.6A Am 23. Oktober wird die Hochzeit gefeiert.	受動文、序数・日付
12 - 14	Lek.6B Bei uns ist es kalt.	非人称表現、zu不定詞
15 - 17	Lek.7A Der blaue Rock hier ist ganz toll.	形容詞の格変化、形容詞の比較級・最上級
18 - 20	Lek.7B Ich habe mich erkältet.	再帰代名詞・再帰動詞
21 - 24	Lek.8A Advent, Advent.	関係代名詞・関係副詞
25 - 28	Lek.8B Auf dem Weihnachtsmarkt.	非現実話法
29 - 30	学習した事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
「シュトラッセ・ノイ」	立教大学ドイツ語教室 / 朝日出版社 / 978-4-255-25297-1 C1084 /

このテキストは次年度、2回生の「応用」でも引き続き使用する予定です。

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語・表現I (2A)

11690

担当者名 / Instructor KOPP STEPHANIE ANNA

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1 - 4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5 - 7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8 - 10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11 - 13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

ドイツ語・表現I (3A)

10005

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1 - 4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5 - 7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8 - 10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11 - 13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE-TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

ドイツ語・表現I (3B)

11795

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみろという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1 - 4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5 - 7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8 - 10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11 - 13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE-TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

ドイツ語・表現I (3C)

10115

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1 - 4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5 - 7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8 - 10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11 - 13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE-TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## ドイツ語・表現I (3D)

11682

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1 - 4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5 - 7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8 - 10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11 - 13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE-TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語・表現II (2A)

11735

担当者名 / Instructor KOPP STEPHANIE ANNA

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみろという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2 - 5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6 - 9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10 - 13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語・表現II (3A)

10069

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2 - 5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6 - 9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10 - 13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE-TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



ドイツ語・表現II (3B)

11848

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみろという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2 - 5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6 - 9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10 - 13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE - TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## ドイツ語・表現II (3C)

10184

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみろという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2 - 5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6 - 9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10 - 13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE - TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金                  ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

ドイツ語・表現II (3D)

11731

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみろという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

**到達目標 / Attainment Objectives**

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study****授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2 - 5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6 - 9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10 - 13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14 - 15	復習、到達度検証テスト	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**  
**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method**

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods****教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『Start frei!』	Rita SACHSE - TOUSSAINT他 / 三修社 / 978-4-384-12262-6 /

**参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る      ドイツ文化センター (Goethe-Institut)  
 ドイツ留学、奨学金      ドイツ学術交流会 (DAAD)  
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報      Deutsche Welle

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## フランス語・応用I (2A)

11103

担当者名 / Instructor 角谷 美知

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

フランス語の会話練習、および、やさしい文章を書く練習を繰り返します。  
フランス語の音に慣れるため、ヒアリング教材を使用します。  
初級から中級レベルの知識を確かなものにするため、絶えず文法確認を行ないます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語で大まかなコミュニケーションがとれるようになる  
フランス語の言語感覚をやしなう  
フランス語で読む、書く、聞く、話すことの喜びを知る  
初級～中級レベルの理解力をやしなう

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	発音	挨拶する。自己紹介する。
第2回	動詞ETRE, ALLER,	ある人について尋ねる。つづりを言う。
第3回	動詞ETRE,FAIRE	人と知り合いになる。名前、職業、住んでいる場所について尋ねる。
第4回	所有形容詞、動詞VOULOIR	国籍を尋ねる。自分の希望を言う。
第5回	テスト、動詞CONNAITRE, 形容詞の性数一致	ある人について尋ねる。何かを示しながら話す。
第6回	動詞AIMER, 定冠詞	自分の好きなものについて話す。好き嫌いの度合いについて話す。
第7回	ER動詞、動詞の原形	自分は何をするのが好きか言ってみる。自分のやりたいことについて話す。
第8回	形容詞の男性形と女性形	好みを説明する。人について描写してみる。
第9回	動詞AVOIR, 疑問形容詞	自分について話す。時間の使い方について話す。
第10回	テスト、定冠詞の単数形と複数形、否定形	持っているものについて話す。物を借りる。
第11回	動詞SAVOIR, 命令形	ある場所について説明する。その場所を位置づける。
第12回	C EST, CE SONT, IL Y Aを使った表現	観光地について話す。
第13回	動詞の活用、指示代名詞	何をするか尋ねる。詳しく尋ねる。
第14回	不規則動詞、否定形	特徴を言う。正確に伝える。
第15回	まとめ	テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 1	高橋秀雄・Serge GIUNTA / 第三書房 / 978-4-8086-2165-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

辞書を持参してください。

## フランス語・応用I (2B)

11260

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

フランス語の会話練習、および、やさしい文章を書く練習を繰り返します。  
フランス語の音に慣れるため、ヒアリング教材を使用します。  
初級から中級レベルの知識を確かなものにするため、絶えず文法確認を行ないます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語で大まかなコミュニケーションがとれるようになる  
フランス語の言語感覚をやしなう  
フランス語で読む、書く、聞く、話すことの喜びを知る  
初級～中級レベルの理解力をやしなう

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	発音	挨拶する。自己紹介する。
第2回	動詞ETRE, ALLER,	ある人について尋ねる。つづりを言う。
第3回	動詞ETRE,FAIRE	人と知り合いになる。名前、職業、住んでいる場所について尋ねる。
第4回	所有形容詞、動詞VOULOIR	国籍を尋ねる。自分の希望を言う。
第5回	テスト、動詞CONNAITRE, 形容詞の性数一致	ある人について尋ねる。何かを示しながら話す。
第6回	動詞AIMER, 定冠詞	自分の好きなものについて話す。好き嫌いの度合いについて話す。
第7回	ER動詞、動詞の原形	自分は何をするのが好きか言ってみる。自分のやりたいことについて話す。
第8回	形容詞の男性形と女性形	好みを説明する。人について描写してみる。
第9回	動詞AVOIR, 疑問形容詞	自分について話す。時間の使い方について話す。
第10回	テスト、定冠詞の単数形と複数形、否定形	持っているものについて話す。物を借りる。
第11回	動詞SAVOIR, 命令形	ある場所について説明する。その場所を位置づける。
第12回	C EST, CE SONT, IL Y Aを使った表現	観光地について話す。
第13回	動詞の活用、指示代名詞	何をするか尋ねる。詳しく尋ねる。
第14回	不規則動詞、否定形	特徴を言う。正確に伝える。
第15回	まとめ	テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 1	高橋秀雄・Serge GIUNTA / 第三書房 / 978-4-8086-2165-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

辞書を持参してください。

## フランス語・応用II (2A)

11176

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

綴り方(スペリング)の練習を行ない、簡潔かつ正しい文章が書けるようになる練習をします。  
 自然なフランス語(つまりは早口でまくしたてるフランス語)に慣れるため、ヒアリング教材を多用します。  
 文法知識の確認、および、語彙をふやす練習をします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の言語感覚を更にやしなう  
 フランス語で読む、書く、聞く、話すことを徹底させる  
 初級～中級レベルの理解力をさらにやしなう

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	形容詞AUTRE, 代名詞EN	余暇の過ごし方について話す。習慣について話す。
2	複合過去、時間の示す表現	家族について話す。過去について話す。
3	前置詞A, CHEZ, EN, 中性代名詞Y	場所、時刻の表示。公共機関の営業時間について尋ねる。
4	動詞VENIR, POUVOIR, DEVOIR	できないこと、すべきでないことについて話す。電話での対応の仕方。
5	テスト、動詞ALLER、時を示す表現	日付の表現。休暇の過ごし方について話す。
6	代名動詞、動詞PRENDRE	毎日の行為について話す。順番を表す表現。
7	動詞PARTIR, ARRIVER, 直接目的補語人称代名詞	交通手段について話す。数字の表現。
8	動詞DESCENDRE, PAYER	移動するときの表現。列車の旅について話す。
9	近接未来形、動詞の名詞化	天候、気温について話す。観光について話す。
10	テスト、動詞VOULOIR, 仮定法	パリの観光について話す。仮定について話す。
11	動詞BOIRE, MANGER, 間接目的補語人称代名詞	食べること、飲むことについて話す。
12	部分冠詞	レストランでの表現
13	色を示す形容詞、複合過去	落し物について説明する。
14	半過去、代名動詞の複合過去形	方向について話す。
15	テスト	まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

フランス語を母語とする外国人の担当する「コミュニケーション」の授業では、フランス語によるコミュニケーション能力の向上に必要な発音・語彙・基本表現を習得するために、とりわけ口頭による練習を行います。平常点を重視するので、授業への積極的な参加を求めます。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 2	高橋秀雄・Serge GIUNTA / 第三書房 / 978-4-8086-2166-7 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

辞書を持参してください。

## フランス語・応用II (2B)

11331

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

綴り方(スペリング)の練習を行ない、簡潔かつ正しい文章が書けるようになる練習をします。  
 自然なフランス語(つまりは早口でまくしたてるフランス語)に慣れるため、ヒアリング教材を多用します。  
 文法知識の確認、および、語彙をふやす練習をします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の言語感覚を更にやしなう  
 フランス語で読む、書く、聞く、話すことを徹底させる  
 初級～中級レベルの理解力をさらにやしなう

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	形容詞AUTRE, 代名詞EN	余暇の過ごし方について話す。習慣について話す。
2	複合過去、時間の示す表現	家族について話す。過去について話す。
3	前置詞A, CHEZ, EN, 中性代名詞Y	場所、時刻の表示。公共機関の営業時間について尋ねる。
4	動詞VENIR, POUVOIR, DEVOIR	できないこと、すべきでないことについて話す。電話での対応の仕方。
5	テスト、動詞ALLER、時を示す表現	日付の表現。休暇の過ごし方について話す。
6	代名動詞、動詞PRENDRE	毎日の行為について話す。順番を表す表現。
7	動詞PARTIR, ARRIVER, 直接目的補語人称代名詞	交通手段について話す。数字の表現。
8	動詞DESCENDRE, PAYER	移動するときの表現。列車の旅について話す。
9	近接未来形、動詞の名詞化	天候、気温について話す。観光について話す。
10	テスト、動詞VOULOIR, 仮定法	パリの観光について話す。仮定について話す。
11	動詞BOIRE, MANGER, 間接目的補語人称代名詞	食べること、飲むことについて話す。
12	部分冠詞	レストランでの表現
13	色を示す形容詞、複合過去	落し物について説明する。
14	半過去、代名動詞の複合過去形	方向について話す。
15	テスト	まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

フランス語を母語とする外国人の担当する「コミュニケーション」の授業では、フランス語によるコミュニケーション能力の向上に必要な発音・語彙・基本表現を習得するために、とりわけ口頭による練習を行います。平常点を重視するので、授業への積極的な参加を求めます。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 2	高橋秀雄・Serge GIUNTA / 第三書房 / 978-4-8086-2166-7 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

辞書を持参してください。

## 授業の概要 / Course Outline

週2回の授業(同一教員が担当)で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。

また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語を正確に発音できる。
- 2) フランス語文法の基礎が理解できる。
- 3) フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
- 4) 簡単なフランス語を聞いて理解できる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェヌマン
2	国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
3	フランス語の名詞には、男と女がいる？	男性名詞・女性名詞
4	彼女は優しい？それとも意地悪？	形容詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	小休止: フランス語の数字	数詞(1-100)
7	英語のThis is a penを、フランス語で言うと？	指示代名詞
8	フランス語で質問しよう	疑問文
9	これは私の本ですか？それとも君の本？	所有形容詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
11	これは何ですか？あれは誰ですか？	疑問代名詞、疑問副詞
12	フランス語で未来を語ろう	近接未来
13	フランス語で過去を語ろう	近接過去
14	国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
15	フランス語特有の語順(その1)	中性代名詞 y
16	たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
17	フランス語特有の語順(その2)	中性代名詞 en
18	天候をフランス語で語ろう	非人称構文(その1)、動詞 faire
19	時間をフランス語で表現しよう	非人称表現(その2)、時刻
20	あなたはどんな車が好きですか？	疑問形容詞とその変化
21	人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22	ふたつのものを比較しよう	比較級
23	このクラスで一番背が高いのは誰？	最上級
24	「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの？	指示代名詞
25	フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その1)
26	続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その2)
27	誕生日をフランス語で言ってみて！	暦にかんする語彙、1000以上の数
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	Documents authentiques、リーディング、
29	前期のまとめ(その1)	日常の語彙、動詞の活用
30	前期のまとめ(その2)	基本構文の把握、時制



宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

#### 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

#### 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

#### 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ビエールとユゴー』	小笠原洋子 / 白水社 / 978-4-560-06100-8 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

#### 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ル・ディコ』	/ 白水社 / / 仏和辞典
『クラウン仏和辞典』	/ 三省堂 / / 仏和辞典
『ブチ・ロワイヤル』	/ 旺文社 / / 仏和辞典
『新スタンダード』	/ 大修館 / / 仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

#### 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

#### その他 / Others

## フランス語・基礎 (2B)

10155

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

週2回の授業(同一教員が担当)で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。

また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語を正確に発音できる。
- 2) フランス語文法の基礎が理解できる。
- 3) フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
- 4) 簡単なフランス語を聞いて理解できる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェヌマン
2	国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
3	フランス語の名詞には、男と女がいる？	男性名詞・女性名詞
4	彼女は優しい？それとも意地悪？	形容詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	小休止: フランス語の数字	数詞(1-100)
7	英語のThis is a penを、フランス語で言うとは？	指示代名詞
8	フランス語で質問しよう	疑問文
9	これは私の本ですか？それとも君の本？	所有形容詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
11	これは何ですか？あれは誰ですか？	疑問代名詞、疑問副詞
12	フランス語で未来を語ろう	近接未来
13	フランス語で過去を語ろう	近接過去
14	国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
15	フランス語特有の語順(その1)	中性代名詞 y
16	たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
17	フランス語特有の語順(その2)	中性代名詞 en
18	天候をフランス語で語ろう	非人称構文(その1)、動詞 faire
19	時間をフランス語で表現しよう	非人称表現(その2)、時刻
20	あなたはどんな車が好きですか？	疑問形容詞とその変化
21	人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22	ふたつのものを比較しよう	比較級
23	このクラスで一番背が高いのは誰？	最上級
24	「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの？	指示代名詞
25	フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その1)
26	続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その2)
27	誕生日をフランス語で言ってみて！	暦にかんする語彙、1000以上の数
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	Documents authentiques、リーディング、
29	前期のまとめ(その1)	日常の語彙、動詞の活用
30	前期のまとめ(その2)	基本構文の把握、時制

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

#### 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

#### 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

#### 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ビエールとユゴー』	小笠原洋子 / 白水社 / 978-4-560-06100-8 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

#### 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ル・ディコ』	/ 白水社 / / 仏和辞典
『クラウン仏和辞典』	/ 三省堂 / / 仏和辞典
『ブチ・ロワイヤル』	/ 旺文社 / / 仏和辞典
『新スタンダード』	/ 大修館 / / 仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

#### 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

#### その他 / Others

## フランス語・総合I (3A)

10012

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L Arc-en-ciel	江島泰子 / 第三書房 / 9784808620660 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	/ 白水社 / / 仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/ 旺文社 / / 仏和辞典
新スタンダード	/ 大修館 / / 仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## フランス語・総合I (3B)

11785

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L Arc-en-ciel	江島泰子 / 第三書房 / 9784808620660 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	/ 白水社 / / 仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/ 旺文社 / / 仏和辞典
新スタンダード	/ 大修館 / / 仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## フランス語・総合I (3C)

10117

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L Arc-en-ciel	江島泰子 / 第三書房 / 9784808620660 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	/ 白水社 / / 仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/ 旺文社 / / 仏和辞典
新スタンダード	/ 大修館 / / 仏和辞典



仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## フランス語・総合II (3A)

10070

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランス」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L Arc-en-ciel	/ 第三書房 / 前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/ 白水社 / 仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/ 旺文社 / 仏和辞典

新スタンダード / 大修館 / 仏和辞典

クラウン / 三省堂 / 仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

#### 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

#### その他 / Others

## フランス語・総合II (3B)

11841

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランス」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

L Arc-en-ciel / 第三書房 / 前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

ル・ディオ / 白水社 / 仏和辞典

プチ・ロワイヤル / 旺文社 / 仏和辞典

新スタンダード / 大修館 / 仏和辞典

クラウン / 三省堂 / 仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

#### 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

#### その他 / Others

## フランス語・総合II (3C)

10185

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランス」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

L Arc-en-ciel / 第三書房 / 前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

ル・ディオ / 白水社 / 仏和辞典

プチ・ロワイヤル / 旺文社 / 仏和辞典

新スタンダード / 大修館 / 仏和辞典

クラウン / 三省堂 / 仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

#### 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

#### その他 / Others

## フランス語・展開 (2A)

10104

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊! 2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。

また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。

フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張って下さい。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 日常的なフランス語の語彙を理解できる。
- 2) 発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
- 3) 基本的なフランス語の文章を理解できる。
- 4) 日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」?	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞 (qui/que/dont/ou)
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir (~ 出来る) を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには...	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去
19	フランス語はラテン語の子孫だ!	接続法
20	ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21	強調したいことがあれば...	強調構文
22	フランス語の副詞は、簡単に作れる!	副詞
23	フランス語は論理的な言語?	接続詞
24	ふたつの文をひとつにする(2)	関係代名詞 (lequel)
25	歴史的な出来事を理解する	単純過去
26	フランス語と時間の表現	時制の一致
27	フランス語の会話を聞き取ろう!	ヒアリング
28	簡単なフランス語を読んでみよう!	リーディング
29	ちょっと本格的なフランス語を読みますか?	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30	文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握



(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
前期同様『ピエールとユゴー』	小笠原洋子 / 白水社 / 978-4-560-06100-8 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/ 白水社 / / 仏和辞典
クラウン仏和辞典	/ 三省堂 / / 仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/ 旺文社 / / 仏和辞典
新スタンダード	/ 大修館 / / 仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・展開 (2B)

10226

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊！2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。

また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。

フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張って下さい。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 日常的なフランス語の語彙を理解できる。
- 2) 発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
- 3) 基本的なフランス語の文章を理解できる。
- 4) 日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」？	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞 (qui/que/dont/ou)
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir (～出来る) を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには…	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去
19	フランス語はラテン語の子孫だ！	接続法
20	ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21	強調したいことがあれば…	強調構文
22	フランス語の副詞は、簡単に作れる！	副詞
23	フランス語は論理的な言語？	接続詞
24	ふたつの文をひとつにする (2)	関係代名詞 (lequel)
25	歴史的な出来事を理解する	単純過去
26	フランス語と時間の表現	時制の一致
27	フランス語の会話を聞き取ろう！	ヒアリング
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	リーディング
29	ちょっと本格的なフランス語を読みますか？	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30	文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお勧めします。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
前期同様『ピエールとユゴー』	小笠原洋子 / 白水社 / 978-4-560-06100-8 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/ 白水社 / / 仏和辞典
クラウン仏和辞典	/ 三省堂 / / 仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/ 旺文社 / / 仏和辞典
新スタンダード	/ 大修館 / / 仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・表現I (2A)

10655

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・表現I (2B)

10814

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・表現I (3A)

11684

担当者名 / Instructor TAILLANDIER DENIS

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

フランス語・表現I (3B)

10015

担当者名 / Instructor FAUCONNIER BRICE

単位数 / Credit 1

**授業の概要 / Course Outline**

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

**到達目標 / Attainment Objectives**

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

**履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study**

特にありません。

**授業スケジュール / Course Schedule**

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

**(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study****(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho**

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

**成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference****教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff****その他 / Others**

## フランス語・表現I (3C)

11790

担当者名 / Instructor BOUVARD JULIEN

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others



## フランス語・表現II (2A)

10733

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・表現II (2B)

10910

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思ひます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れぬことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・表現II (3A)

11733

担当者名 / Instructor TAILLANDIER DENIS

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・表現II (3B)

10078

担当者名 / Instructor FAUCONNIER BRICE、フランソワーズ 宮武

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## フランス語・表現II (3C)

11849

担当者名 / Instructor LAVELLE MARIE-CLAIRE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

## 到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## ドイツ語上級コミュニケーションI (K)

10981

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben.

## 到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.  
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrueessung und Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einfuehrung der Personen
4	Abschnitt 2	Telekommunikation - Handies
5	Abschnitt 3	Hobbies deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Probleme deutscher Jugendlicher
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 2 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel / Shinkotsusho / 0-8219-2601-2-45722 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## ドイツ語上級表現読解I (K)

11363

担当者名 / Instructor 高木 敏美

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

このクラスでは日常のドイツ語表現に即した言い回しを学びつつ、特に読み書きに重点を置いて取り組む。

## 到達目標 / Attainment Objectives

これまでのゼメスターで習ったことを確認しつつ、様々な事態をドイツ語によって分節化し、表現する仕方を習得する。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	概要と導入	ガイダンス
第2回	Lek.1 ~がある/いる	Klopfen-wozu?
第3回	Lek.2 接続法の表現	Deutsche und Geraeusche
第4回	Lek.3 造語法・序数と分数	Sind Deutsche geizig?
第5回	Lek.4 過去分詞の形容詞用法	Deutscher Witz
第6回	Lek.5 比較・従属接続詞	Jeder bezahlt fuer sich
第7回	Lek.6 動詞の不定詞	Essen die Deutschen Sandwiches?
第8回	Lek.7 訳しにくい動詞と名詞	Zeitgefuehl der Deutschen
第9回	Lek.8 文の構造・接続法	Konservativ oder Progressiv
第10回	Lek.9 機能動詞	Wo sitzt der Gast?
第11回	Lek.10 動詞の名詞化・指示代名詞	Wie kommt man zu seinem Platz,wenn man zu spaet kommt?
第12回	Lek.11 定関係代名詞	Leicht benutzbare Ausdruecke und schwer benutzbare Ausdruecke
第13回	Lek.12 過去分詞の副詞用法	Man kann nicht immer arbeiten
第14回	まとめ	
第15回	検証テスト(60分)、解説(30分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業内容の理解度を確認する小テストおよび提出課題によって評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新・ドイツ語読みかた教室 中級表現練習読本	大谷弘道 / 大谷ウルズラ / 三修社 / 978-4-384-13088-1 C1084 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## ドイツ語上級表現読解II (K)

12301

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。独検で過去に出題された問題も授業内で取り上げる。

## 到達目標 / Attainment Objectives

独検2級合格程度。さらに準1級合格を目指すための基礎学力を身につける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	読解、文法の復習、リスニング	
3	読解、文法の復習、リスニング	
4	読解、文法の復習、リスニング	
5	読解、文法の復習、リスニング	
6	読解、文法、リスニング	
7	読解、文法、リスニング	
8	読解、文法、リスニング	
9	読解、文法、リスニング	
10	読解、文法、リスニング	
11	読解、文法実践問題、リスニング	
12	読解、文法実践問題、リスニング	
13	読解、文法実践問題、リスニング	
14	読解、文法実践問題、リスニング	
15	検証テスト(60分)、統括講義(30分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60% 出席、発表など 40%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

要望があれば単語テスト、熟語テストなどの小テストを実施します。また、授業の中でドイツ映画を鑑賞する時間を設ける予定です。

## 教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、購入の必要はありません。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	三室次雄 / 三修社 / / 自習用。希望者のみ購入してください。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others



## ドイツ語中級コミュニケーションI (K)

11021

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben.

## 到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.  
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begruessung und Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einfuehrung der Personen
4	Abschnitt 2	Telekommunikation - Handies
5	Abschnitt 3	Hobbies deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Probleme deutscher Jugendlicher
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 1 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel / Shinkotsusho / 0-8219-2553-9 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## ドイツ語中級コミュニケーションII (K)

11040

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben

## 到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.  
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt unRd vertieft.

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrueessung und Ermittlung des Wissenstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Vorstellung der Protagonisten
4	Abschnitt 2	Kontaktaufnahme
5	Abschnitt 3	Freizeit deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Lernprobleme, Geldprobleme...
7	Abschnitt 5	Kleider machen Leute?
8	Abschnitt 6	Essen und Trinken
9	Abschnitt 7	Einkaufen im Kaufhaus
10	Abschnitt 8	Geburtstag und andere Feste
11	Abschnitt 9	Arbeitsmarkt in Deutschland
12	Abschnitt 10	deutsche Staedte
13	Abschnitt 11	deutsche Staedte
14	Abschnitt 12	Fussball
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 1 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel / Shinkotsusho / 0-8219-2553-9 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## ドイツ語中級表現読解I (K)

12408

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
3	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
4	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
5	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
6	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
7	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
8	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
9	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
10	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
11	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
12	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
13	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
14	リスニング、表現、単語テスト、読解、クイズ	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)30% 出席、発表、小テストなど 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解」(後期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。  
また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解」(前期)「ドイツ語中級表現読解」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するのがよいでしょう。  
月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解」(前期)、「ドイツ語中級表現読解」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書(月曜5限の「ドイツ語中級表現読解」を履修する人はテキスト「ドイツ文法大百科」)を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

## 教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

## ドイツ語中級表現読解II (K)

11575

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

これまでに学習したドイツ語運用能力(聞く・話す・読む・書く)を確実なものとし、さらに総合的に伸ばしていきます。  
旅行・天気・学校など日常身近なテーマで、コミュニケーションをとる練習をします。  
また、様々なテーマや場面に重要な、語彙・表現・文型・文法を学びます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語運用能力を総合的に伸ばすこと。  
道案内や物の比較など、日常身近な場面に必要な語彙・表現を増やすこと。  
ドイツ語圏の文化・社会についての知識を増やすこと。  
日本の事情を、ドイツ語で表現できるようになること。  
既習テーマについて書かれた短いテキストを、辞書なしで理解できるようになること。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業説明、アンケート	ドイツ語による他己紹介
2	Lektion 1: レストランで	食事を注文する、支払う
3	Lektion 2: ホテルで	ホテルを探す、予約する
4	Lektion 3: 街で	道を尋ねる
5	Lektion 4: 旅行と交通	切符を買う、旅先から葉書を出す
6-7	Lektion 5: 天気	天候の表現、理由・条件を述べる
8-9	Lektion 6: 健康と体の手入れ	病気の表現、入浴・歯磨きなどの表現
10	Lektion 7: 贈り物と招待	贈り物について話す、助言を求める
11-12	Lektion 8: 履歴と学校制度	興味と憧れの職業について話す、中学・高校時代について話す
13-14	Lektion 9: ゴミと環境	ゴミ処理の仕方について尋ねる・教える、命令形
15	Lektion 10: 祝祭と祝日	イースター、クリスマス、年末について話す

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

授業後は必ず復習を行って、分からない箇所がないか確認して下さい。  
なるべく速く、正しい綴りでドイツ語を書けるようになるため、パソコンに頼らず手書きの練習を心がけて下さい。  
自分に興味のある分野で、教材以外のドイツ語に触れる機会を作ってみましょう。  
世界およびドイツ語圏のニュースを、定期的にチェックすることも重要です。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席状況、小テスト、積極的な授業参加、宿題・課題に取り組む姿勢などを、総合的に評価します。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業では、間違いを恐れずにどんどんドイツ語を使いましょう。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Szenen 2 kompakt 場面で学ぶドイツ語	佐藤修子他 / 三修社 / 978-4-384-13089-8 / 定価 2,835円

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

受講者の理解度に応じて、授業の進捗や課題の内容を変更・調整する場合があります。

## ドイツ語中級表現読解III (K)

12453

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	リスニング、表現、単語テスト、読解	
2	リスニング、表現、単語テスト、読解	
3	リスニング、表現、単語テスト、読解	
4	リスニング、表現、単語テスト、読解	
5	リスニング、表現、単語テスト、読解	
6	リスニング、表現、単語テスト、読解	
7	リスニング、表現、単語テスト、読解	
8	リスニング、表現、単語テスト、読解	
9	リスニング、表現、単語テスト、読解	
10	リスニング、表現、単語テスト、読解	
11	リスニング、表現、単語テスト、読解	
12	リスニング、表現、単語テスト、読解	
13	リスニング、表現、単語テスト、読解	
14	リスニング、表現、単語テスト、読解	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト 30% 出席、発表、小テスト 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解」(前期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。

また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解」(前期)「ドイツ語中級表現読解」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するとよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解」(前期)、「ドイツ語中級表現読解」(後期)を履修してください。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

## 教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## ドイツ語中級表現読解IV (K)

10606

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習、語彙力の強化の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	文法の復習(動詞の現在1)	
3	文法の復習(疑問文・seinとhaben)	
4	文法の復習(文の形)	
5	文法の復習(名詞と冠詞)	
6	文法の復習(複数形・男性弱変化名詞)	
7	文法の復習(動詞の現在2・命令)	
8	文法の復習(冠詞類)	
9	文法の復習(人称代名詞・werとwas)	
10	文法の復習(man・非人称表現)	
11	文法の復習(前置詞)	
12	文法の復習(形容詞の語尾)	
13	文法の復習(前期の復習)	
14	文法の復習(前期の復習)	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60点 出席、発表など 40点

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解」(後期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解」(前期)「ドイツ語中級表現読解」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要とされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解」(前期)、「ドイツ語中級表現読解」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書およびテキストを持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	三室次雄 / 三修社 / 978-4-384-05210-7 C1084 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others



## ドイツ語中級表現読解V (K)

10630

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指して基礎学力を身につける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の復習	
2	文法の復習(zu不定詞)	
3	文法の復習(話法の助動詞)	
4	文法の復習(分離動詞・未来)	
5	文法の復習(動詞の三基本形・過去)	
6	文法の復習(完了)	
7	文法の復習(再帰代名詞・再帰動詞)	
8	文法の復習(形容詞・副詞の比較変化)	
9	文法の復習(関係代名詞)	
10	文法の復習(指示代名詞・不定代名詞)	
11	文法の復習(受動)	
12	文法(総合問題 )	
13	文法(総合問題 )	
14	文法(総合問題 )	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60% 出席、発表 40%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解」(前期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解」(前期)「ドイツ語中級表現読解」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要なとされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解」(前期)、「ドイツ語中級表現読解」(後期)を履修してください。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	三室次雄 / 三修社 / 978-4-384-05210-7 C1084 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。



## フランス語上級コミュニケーションI (K)

13329

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

これまでに学習したことからさらに視野を広げるために、フランスの社会、文化等について学びます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める(フランス語を読む、聞く、話す、書く)。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

仏検3級の取得、あるいは同等の学力を有する学生を対象とする。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	フランスの地方	フランスの国土
2回目	フランスの地方	各地の特色
3回目	一回目、二回目のまとめ 日本の地理、気候について	p.12の資料
4回目	季節の暮らし、気候	四季の暮らし
5回目	季節の暮らし、気候 家の中で感じる季節	日本との比較 日本の暮らしについてフランス語で発表します(テストになります)
6回目	社会における女性と男性	日本とフランスの社会における男女の役割の相違点
7回目	現代フランス社会の家族のイメージ	家族、カップル、そして子供
8回目	日本とフランスの家族のイメージ	p.66の資料
9回目	日本とフランスの家族のイメージのまとめ	日本とフランスの家族のイメージの比較について、フランス語で発表します(テストになります)
10回目	フランスの食事	普段の食生活
11回目	食生活、ガストロノミー(美食)	食生活の復習 日本の食生活との比較
12回目	p.35のクイズ、p.36の資料	食生活のまとめ
13回目	フランス人の礼儀と会話のマナー	フランス人のマナー
14回目	日本人の礼儀と会話のマナー	フランス人と日本人のマナーのまとめ
15回目	まとめのテスト	リスニング、書き取りのテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業期間中に学習到達度をテスト(3回)で評価する。出席点も考慮する。
仏和辞典が必要。		

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
La societe francaise	J-L Azra, O Lorillard, B Vannieuwenhuysse, 三木賀雄, 池澤明子, 市川まり子 / alma / 978-4-904147-00-9 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## フランス語上級表現読解I (K)

13336

担当者名 / Instructor 角谷 美知

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

フランスの政治、経済、社会、文化に関する時事的なトピックスを素材にして、フランス語の「読む、書く、聞く、話す」の総合力を養成するために、文法事項の復習、語句、派生語、作文をも取り入れながらテキストを正確に理解し、文化、社会への知識を深めてゆきたい。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の文法知識を整理し、時事的なフランス文を正確に速読できるように、テキストの読解と文法問題を解き、専門分野の原文の読解力を身につけてほしい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解を履修していることが望ましい。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1、	授業の概要と導入	授業の到達目標、進め方、成績評価方法等
2、	第1課 ブーム！日本文化、第2課 エッフェル塔120歳(前半)	読解と文法問題
3、	第2課 エッフェル塔120歳(後半)、第3課 ルノワールあくなき探求者	読解と文法問題
4、	第4課 点字の発明者ブラーユ、第5課 くず屋のシスター(前半)	読解と文法問題
5、	第5課 くず屋のシスター(後半)、第6課 ハートのレストラン	読解と文法問題
6、	第7課 フランスも当たり年 ノーベル賞、第8課 ペタンクはいかが？(前半)	読解と文法問題
7、	第8課 ペタンクはいかが？(後半)、第9課 太平洋の楽園	読解と文法問題
8、	第10課 シャンパーニュとシャンペン、第11課 よみがえる巡礼(前半)	読解と文法問題
9、	第11課 よみがえる巡礼(後半)、第12課 パックスって？	読解と文法問題
10、	第13課 母のなは ……、第14課 「石」の値段(前半)	読解と文法問題
11、	第14課 「石」の値段(後半)、第15課 フランス名物ストライキ？	読解と文法問題
12、	第16課 是か非か 国外退去、第17課 国家侮辱罪？(前半)	読解と文法問題
13、	第17課 国家侮辱罪？(後半)、第18課 原発大国フランス	読解と文法問題
14、	第19課 デルデデル、第20課 EUの牽引車フランス？	読解と文法問題
15、	検証テスト(60分)と解説(30分)	前期学習の理解度確認とまとめ

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

第1～20課のテーマに関する書物、ニュース、記事にも関心を持って、理解を深めてほしい。又、本文だけでなく文法問題や語句をふやすための練習問題も予習して授業に出席してほしい。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回の授業での発表と出席を考慮して、20%を配点する。2/3以上の出席を必要とする。検証テストを行い、80%を配点する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

フランス文化についての読書、新聞、雑誌記事やニュースに関心を持ってほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
時事フランス語 2010年度版	ミシェル・サガズ、加藤晴久編著 / 朝日出版社 / 978-4-255-35208-4 / C1085

## 参考書 / Reference Books

必要に応じて授業で紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

特になし。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業の前後、月曜日の4, 5時限、金曜日の5時限には文学部(清心館)の講師室に在室している。

その他 / Others

## フランス語上級表現読解II (K)

13341

担当者名 / Instructor 角谷 美知

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

フランス語の童話「黄ずきんちゃん」をテキストにして、フランス語の物語を読む楽しみを身につけ、書き言葉と話し言葉の特徴を理解してほしい。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の物語の読解力を深めるとともに、詳しい注を利用して、文法の知識を整理し、難解な文章をも読みこなす能力を養ってほしい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解を履修していることが望ましい。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の到達目標、進め方、成績評価方法等
第2回目～第14回目	「黄ずきんちゃん」の読解目	物語文の読解
第15回目	検証テスト(60分)と解説(30分)	物語文の理解度確認とまとめ

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

書き言葉の読解には文法の知識が欠かせませんので、テキストの注だけでなく、文法書を辞書とともに活用してほしい。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回の授業で発表と出席を考慮して20%を配点する。2/3以上の出席を必要とする。検証テストを行い、80%を配点する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

フランス文化、特に文学について関心を持ち、できれば他の作品も読んで理解を深めてほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
黄ずきんちゃん	フレッド・エルモン著、内藤 陽哉・松本 陽正編 / 駿河台出版社 / 978-4-411-01409-2 / C3085

## 参考書 / Reference Books

必要に応じて授業で紹介する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

特になし

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業の前後、月曜の4・5時限、金曜の5時限には文学部(清心館)の講師室に在室している。

## その他 / Others

## フランス語中級コミュニケーションI (K)

13330

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランスの文法基礎の復習をしておく。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	1a - 3bまで挨拶、自己紹介	発音の基礎、etreの活用
2回目	4a - 7a 家族、住まい	家族について、avoir,habiterの活用
3回目	7b - 10a 好きな物、すること	faire,動詞の現在形
4回目	テスト	リスニングと会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
5回目	10b - 11a 暮らし、習慣について	代名動詞、現在形
6回目	11b - 12a 予定について	場所を表す前置詞、複合過去
7回目	12b どうでしたか？	半過去
8回目	13a,b 外国へ行ったことがありますか？いつ？	代名詞、y,en
9回目	テスト	リスニングと会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
10回目	15a,b 食事について	部分冠詞、関係代名詞
11回目	16a,b(12bの復習)最近どんな映画をみましたか？	形容詞
12回目	17a 映画によく行きますか？	頻度と期間の表現
13回目	17b 両親によく手紙を書きますか？	間接目的語の代名詞
14回目	18a(11aの復習)今週、予定がありますか？	単純未来形
15回目	テスト	リスニングと会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト(3回)で評価する。出席、宿題も考慮する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要である。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversation et grammaire	M Ohki, J-L Azra, B Vannieuwenhuysse / ALMA / 4-9901072-9-2 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## フランス語中級コミュニケーションII (K)

15978

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

前期からの続きで、基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期の授業の復習をしておく。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	夏休みの間、何をしましたか？どこかへ誰かと行きましたか？	12a,b, 13a,bの復習になります。
2回目	これまで学習したことテスト	リスニング、会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
3回目	18b 外国に住んでみたいですか？	前未来形
4回目	19a パリは東京よりも大きいですか？	比較級
5回目	19b どこにいくのがおすすめですか？	スペルの読み方
6回目	20a ーか月のいくら使いますか？	70以上の数字
7回目	20b お金持ちだったら何をしますか？	条件法
8回目	21a(14bの復習)日本でいちばん住みやすい都市はどこですか？	最上級
9回目	21b パリの人口はどれくらいですか？	大きな数字
10回目	22a あなたにとって理想の仕事は何ですか？	接続法
11回目	22b どんな友達がほしいですか？	関係代名詞
12回目	テスト	リスニング、会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
13回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。1/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
14回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。2/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
15回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。3/3の映画をみる。映画についてのコメント、討論をする。	映画の内容を理解する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に実施するテストで評価する。出席、宿題も考慮する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversation et grammaire	M Ohki, J-L Azra, B Vannieuwenhuysse / ALMA / 4-9901072-9-2 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others



## フランス語中級表現読解I (K)

13342

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

大学に入学以前に一通りフランス語を学んできた学生のための科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

大学以前に仏検4級に合格している学生も何人かいますので、仏検3級を目指します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の分類・登録の仕方、冠詞	
2	フランス語の基本文型	
3	疑問代名詞、関係代名詞	
4	人称代名詞、補語人称代名詞	
5	中性代名詞	
6	複合過去形	
7	複合過去	
8	半過去形	
9	複合過去形と半過去形	
10	大過去形	
11	複合過去と半過去と大過去	
12	単純未来形	
13	前未来形	
14	練習問題	
15	総括講義(30分)・試験(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	平常点4割、最終講義試験6割

三分の二以上の出席が不可欠です。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## フランス語中級表現読解II (K)

15983

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

日常的な生活場面で使われる言葉が理解できるように、聞く・話す・読む・書く4能力をバランスよく養成し、フランス語会話の基礎を身につけると共に、フランス語が話されている地域への理解を深める。

## 到達目標 / Attainment Objectives

実用フランス語技能検定試験3級～準2級程度のヒアリング・スピーキング・ディテクション能力を獲得する。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業説明 / 空港で (1) 税関で	
第2回	空港で (2) レンタカーの事務所で	
第3回	ホテルで (1) 到着	
第4回	ホテルで (2) 朝食の予約	
第5回	駅で (1) 案内係で	
第6回	駅で (2) 予約係で	
第7回	列車の中で	
第8回	レストランで (1)	
第9回	レストランで (2)	
第10回	パン屋さんで	
第11回	郵便局で	
第12回	市場で	
第13回	スーパーで	
第14回	文房具屋さんで	
第15回	魚屋さんで	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席点(2/3以上の授業に出席した者のみを成績評価の対象とする)、授業への参加、宿題、小テストなどで評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回の授業までに該当の章を予習し、授業日に教科書を必ず持参する。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初めてのフランス旅行1	大木 充, Georgette Kawai-Charnay / Surugadai-Shuppansha / 4-411-00916-1 /

## 参考書 / Reference Books

プリントも配布します。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する

## その他 / Others

## フランス語中級表現読解III (K)

15987

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

フランス語中級表現読解を受講していることを前提にして、初級文法後半の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

## 到達目標 / Attainment Objectives

仏検3級を完全射程に入れます。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総復習	
2	総復習	
3	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
4	過去分詞の性・数一致	
5	代名動詞の複合時制	
6	関係節における複合時制	
7	フランス語の受動表現	
8	補語人称代名詞	
9	中性代名詞	
10	条件法現在形	
11	条件法過去形	
12	現在分詞とジェルマンディフ	
13	接続法現在形	
14	接続法過去形	
15	総括講義(30分)・試験(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	平常点4割、最終講義試験6割
三分の二以上の出席が不可欠です。		

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## フランス語中級表現読解Ⅳ (K)

13326

担当者名 / Instructor TAILLANDIER DENIS

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

日常生活の場面ですぐ使われる言葉が理解できるように、聞く・話す・読む・書く4能力をバランスよく養成し、フランス語会話の基礎を身につけると共に、フランス語が話されている地域への理解を深める。

## 到達目標 / Attainment Objectives

実用フランス語技能検定試験3級～準2級程度のヒアリング・スピーキング・ディテクション能力を獲得する。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	復習 / タクシーの中で	
第2回	バスでルーブルへ行く(1)	
第3回	バスでルーブルへ行く(2)	
第4回	さまざまな交通機関(1)	
第5回	さまざまな交通機関(2)	
第6回	銀行で、トラベラーズチェックを現金化する	
第7回	洋服屋さんで買い物する(1)	
第8回	洋服屋さんで買い物する(2)	
第9回	電話で話す(1)	
第10回	電話で話す(2)	
第11回	薬局で	
第12回	病院で	
第13回	会社で(1)	
第14回	会社で(2)	
第15回	劇場で	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席点(2/3以上の授業に出席した者のみを成績評価の対象とする)、授業への参加、宿題、小テストなどで評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回の授業までに該当の章を予習し、授業日に教科書を必ず持参する。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初めてのフランス旅行1	大木 充, Georgette Kawai-Charnay / Surugadai-Shuppansha / 4-411-00916-1 /

## 参考書 / Reference Books

プリントも配布します。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する

## その他 / Others

## フランス語中級表現読解V (K)

15976

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

一年生のフランス語既習者を対象に、初級・中級文法を解説しつつ、基本的な読解および作文の問題練習を行なう。セメスター終盤の数回は、新聞記事やエッセーなどの読解にも取り組んでみる予定である。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- ・初級文法の復習と中級文法の習得。
- ・基本的な読解力、作文力の養成。
- ・発音規則に基づいた正確な音読。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期において、フランス語中級表現読解を履修しておくことが望ましい。

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	・授業説明・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その1)
第2回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その2)
第3回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その3)
第4回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	複合過去、受動態、関係代名詞ほか
第5回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	命令法、人称代名詞
第6回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	代名動詞、指示代名詞、所有代名詞
第7回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	半過去、大過去
第8回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	中性代名詞
第9回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	単純未来、前未来、非人称動詞、使役・知覚動詞
第10回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	疑問代名詞、直接・間接疑問、関係代名詞(その2)
第11回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	単純過去、前過去、現在分詞、ジェロンディフ
第12回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	条件法
第13回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	接続法(その1)
第14回	・文法解説・文法、読解、作文の問題練習	接続法(その2)
第15回	・復習(30分)・検証テスト(60分)	授業の総括

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

授業に先立ち、受講者は各自丹念に辞書を引き、十分な予習をしておくこと。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	普通の発表の内容、小テストの成績、宿題提出、出席状況を30%、最終日の検証テストの結果を70%として、最終的な評価を行なう。なお、評価のためには、3分の2以上の出席を前提とする。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中級フランス語をより完成された形で習得するために、じっくり課題に取り組んでほしい。そのためにも、辞書や文法書をひもとく労を厭わないでいただきたい。また日常生活の中で、フランス文化にいろいろ親しんでいていただきたい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『新初等フランス語教本～文法編』	京都大学フランス語教室 / 白水社 / ISBN978 - 4 - 560 - 06091 - 9 /

## 参考書 / Reference Books

和仏辞典や文法書については、授業で紹介する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others



## 中国語上級コミュニケーションI (K)

10982

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は「リスニング力」、「読解力」の向上を図ることを目標とします。中級レベルの受講生が如何にしてより高度の語学力を身につけられたら良いかを学生の皆さんと共に考え、週一回の授業のなかで展開していく。中国語検定試験の「3級」から「2級」程度の授業です。また、就職活動に役立つ「実務型」中国語のいろは…に繋いでいけるような授業にしていけたらと考える、そういう授業です。

## 到達目標 / Attainment Objectives

「リスニング」力の上達が図られる。  
既習した「文法事項」や「重要語彙」を強固なものに出来る。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1階	レベルチェック(口答試験+筆記試験)授業説明、学習要領、注意事項など	第1課の紹介、翌週の授業までの「(予習)課題」
第2回	第1課	
第3回	第1課	第1課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第4回	第1課関連「テスト」第2課	
第5回	第2課	
第6回	第2課	第2課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第7回	第2課関連「テスト」第3課	
第8回	第3課	第3課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第9回	第3課関連「テスト」第4課	
第10回	第4課	
第11回	第4課	第4課のまとめ、翌週の「テスト課題」
第12回	第4課関連「テスト」プリント教材	中国語「パソコン入力」講座
第13回	プリント教材	中国語「パソコン入力」講座 PC課題配布
第14回	前期学習の総まとめ、テスト範囲、「語彙」、「文法」などの再確認	「PC課題」関連質問受付、その指導
第15回	レベルチェック(口答試験+筆記試験)(60分) 試験解説 単位評価の諸説明(30分)	「PC課題」提出締め切り日

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

単語の暗記に努めること  
ピンインや声調の「正確さ」に心がけること

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100%	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%

語学学習は地道な努力が必要です。例文や単語の暗記が不可欠ですので、そのつもりで取り込んで欲しい。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

非常に中身の濃い授業です。「単位取り」が目的の学生などはよく考えてから受講してもらいたい。また、宿題が多いことは言うまでもありません。きちんと勉学の姿勢が必要です。しかしながら、授業中はおくまでも和気藹々のつもりですので、積極参加をお願いしたい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
青島の朝	佐藤富士雄ほか / 白帝社 / /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

人民日報ネット <http://www.people.com.cn/>  
ヤフー中国 <http://cn.news.yahoo.com/>  
新浪 <http://www.sina.com.cn/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others



## 中国語上級表現読解I (K)

11364

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

文法事項を的確に踏まえて文章を間違いなく読みこなしたうえで、書く・話すことも視野に入れつつ学習を進める。授業時に電子辞書を引きながら翻訳するようなことは認められない。事前に予習をしてきていることを前提に授業を進める。テキストはプリントを用いる。

## 到達目標 / Attainment Objectives

「人民日報」などの新聞や現代小説を独力で80%以上理解でき、自分の意見を手短かに述べるようになること。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中国語初級・中国語中級

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文法概説、音節全表を用いての発音総復習	ピンイン・音節・声調
2	テキスト読解とドリル(1)	形容詞
3	テキスト読解とドリル(2)	動詞
4	テキスト読解とドリル(3)	名詞、「是」構文
5	テキスト読解とドリル(4)	二重主語構文
6	テキスト読解とドリル(5)	連動文
7	テキスト読解とドリル(6)	前置詞構文
8	テキスト読解とドリル(7)	「把」構文
9	テキスト読解とドリル(8)	使役・受身表現
10	テキスト読解とドリル(9)	副詞
11	テキスト読解とドリル(10)	文末助詞
12	テキスト読解とドリル(11)	テンスとアスペクト
13	テキスト読解とドリル(12)	応答詞
14	テキスト読解とドリル(13)	否定
15	総復習とテスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

外国語は若い時に可能な限り集中して学ぶことが一番の早道である。インターネットなどでも様々なかたちで中国語に触れることができる。あらゆる機会を利用して中国語に触れてみよう。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	語彙、文法の学習到達度により評価する。
平常点評価	50 %	発音の正確さと予習状況を評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

丹念に辞書を引き、既習の文法事項を意識して正確に読み・書き・話すことが肝要である。成人してからの外国語は感覚のみでは高い水準に達することはできない。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プリント使用	///

## 参考書 / Reference Books

授業時に適宜指示する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

著作権などとの関係で微妙な問題もあるので授業時に指示する。

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

メール: masnakag@fc.ritsumeiji.ac.jp

## その他 / Others

## 中国語上級表現読解II (K)

12302

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

この授業は、一回生時に身に付けた中国語能力の実情を踏まえながら、読解力、表現力、聴力など、いわば総合的な中国語運用能力を養成することを目標とします。ピンインなしのやさしい中国語の文を朗読したり、ピンインだけの文を音で理解したり、リスニングの練習をしたり、実用会話をしたりしていきます。また、中国語の映画やビデオも見ていきます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中上級程度の読解力を身に付ける。  
中級程度の表現力、聴力を身に付ける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	第1課、表現読解のタイトル「春休みについて」。リスニング、会話の練習(1)	
第2回	第2課、表現読解のタイトル「自分の専攻について」。リスニング、会話の練習(2)	
第3回	第3課、表現読解のタイトル「中国のバス事情」。リスニング、会話の練習(3)、小テスト	
第4回	第4課、表現読解のタイトル「北京」。リスニング、会話の練習(4)	
第5回	第5課、表現読解のタイトル「中国のホテル」。リスニング、会話の練習(5)	
第6回	第6課、表現読解のタイトル「お金両替」。リスニング、会話の練習(6)、小テスト	
第7回	第7課、表現読解のタイトル「家庭訪問」。リスニング、会話の練習(7)	
第8回	第8課、表現読解のタイトル「北京の繁華街」。リスニング、会話の練習(8)	
第9回	第9課、表現読解のタイトル「天安門」。リスニング、会話の練習(9)、小テスト	
第10回	第10課、表現読解のタイトル「中国の留学先から帰国」。リスニング、会話の練習(10)	
第11回	第11課、表現読解のタイトル「誕生日の話」。リスニング、会話の練習(11)	
第12回	第12課、表現読解のタイトル「漢字の話」。リスニング、会話の練習(12)、小テスト	
第13回	第13課、表現読解のタイトル「外国語の学習について」。リスニング、会話の練習(13)	
第14回	第14課、表現読解のタイトル「電話の掛け方」。リスニング、会話の練習(14)	
第15回	確認テスト(50分)、解説、前期のまとめ(40分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、 小テスト、確認テストは50%

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

プリント教材

## 参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

人民日報ネット <http://www.people.com.cn/>  
ヤフー中国 <http://cn.news.yahoo.com/>  
新浪 <http://www.sina.com.cn/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

大学のメール

その他 / Others

## 中国語中級コミュニケーションI (K)

11022

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

会話力の向上を目標とする。

初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指すと同時に、毎回10分程度、リスニングの時間も設ける形で授業を展開していく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

留学など現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につけてほしい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	レベルチェックテスト(50分)講義・解説・講評(40分)	
2	自己紹介	会話練習と発表
3	北京の方が寒い	会話練習と発表
4	今何してる。	会話練習と発表
5	郵便局へ小包を取りに行った。	会話練習と発表
6	色の薄い方が好き	会話練習と発表
7	明日は私の友達の誕生日	会話練習と発表
8	週末何しているの	会話練習と発表
9	友人宅への訪問	会話練習と発表
10	友人宅への訪問	会話練習と発表
11	もう慣れた。	会話練習と発表
12	お見舞い	会話練習と発表
13	彼は風邪を引いている	会話練習と発表
14	白酒をたくさん飲んでしまった。	会話練習と発表
15	テスト(60分)解説・講評(30分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

平常点評価 100 % 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%

各課ごとに書き取りテストがあるため、予習、復習が必要。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

実際のコミュニケーション力と各回のリスニングテストの成績を重視。

三分の二以上のテスト参加は単位認定の必須条件である。

## 教科書 / Textbooks

既習者を対象としているため、初回レベルチェックを行う予定。

学習者のレベルに合わせて、毎回資料を配布する。

(既習者中心のクラスのため、全体のレベルによって内容を若干変更することがある。)

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語中級コミュニケーションII (K)

11041

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

会話力の向上を目標とする。

初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指すと同時に、毎回10～15分程度、リスニングの時間も設ける形で授業を展開していく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

留学などの現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につけてほしい。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	どれぐらい中国語勉強したの？	会話練習と発表
2	朝御飯たべたら、探しにきて。	会話練習と発表
3	体を鍛えないと。。	会話練習と発表
4	もうすぐ試験だ	会話練習と発表
5	家族が帰ってくるようにと。。	会話練習と発表
6	試験結果はどう？	会話練習と発表
7	もうチケット購入した。	会話練習と発表
8	中国人学生パーティーへの参加	会話練習と発表
9	飛行機が延着した。	会話練習と発表
10	アパートを借りたい。	会話練習と発表
11	彼女は黄色のシャツを着ている。	会話練習と発表
12	アメリカならこんなに多くない - 自転車を話題に -	会話練習と発表
13	このレストランの料理はなかなかいい	会話練習と発表
14	広告の下にお知らせが張ってある！	会話練習と発表
15	テスト(60分) 解説・講評(30分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

平常点評価 100 % 出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%

各課ごとに書き取りテストがあるため、予習、復習が必要。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

実際のコミュニケーション力と各回のリスニングテストの成績を重視。

三分の二以上のテスト参加は単位認定の必須条件である。

## 教科書 / Textbooks

資料配布

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 中国語中級表現読解I (K)

12409

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも活用しヒヤリング力を高める。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中各学生の発音をチェックする。自宅学習用として文法書をサブテキストとし何度か小テストを実施し学習確認をする。中国語学習を通して中国への理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけてほしい。

## 到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあればある程度の文章が読める力を身につけることを到達目標とする。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme 導入	キーワード / Key Word
		授業の概要と導入(授業プリントおよび授業スケジュール配布・授業内容説明等)
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解、リスニング	シナリオ講読とビデオ鑑賞
	文法確認と中国理解	エッセイを読む
	文法確認と中国理解	エッセイを読む
	文法確認と中国理解	エッセイを読む
	文法確認と中国理解	エッセイを読む
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	中国理解とリスニング	ビデオ鑑賞
	発音チェック	漢詩または歌の暗誦
	到達度確認	到達度確認およびまとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト平均 20点 歌または漢詩暗誦 20点 確認テスト 60点

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受けたい学生は練習問題等を提出すれば添削するので、主体的に学習に取り組んでほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?にこたえる初めての中国語文法書	相原茂等 / 同学社 / / サブテキスト(自宅学習用)

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

最初の授業時に学生に知らせる。

## その他 / Others

## 中国語中級表現読解II (K)

12441

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも活用しヒアリング力をより高める。講読の際文法の復習、基礎固めを目指していねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。サブテキストの文法書は自宅学習用として、その確認のため何度か授業時に小テストを実施する。

中国語額数を通して中国への理解を深め、豊かな創造力と想像力を身につけてほしい。

## 到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	導入	授業の概要と導入(授業プリント、授業計画配布、授業内容説明等)
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	中国理解とリスニング	ビデオ鑑賞
	文法確認と中国理解	新聞を読む
	文法確認と中国理解	新聞を読む
	文法確認と中国理解	新聞を読む
	文法確認と中国理解	新聞を読む
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	文法確認と中国理解	シナリオ講読
	中国理解とリスニング	ビデオ鑑賞
	発音チェック	漢詩または歌の暗誦
	到達度確認	確認テストおよびまとめ

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト平均 20点 暗誦テスト 20点 筆記テスト 60点

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受験する学生は練習問題を提出すれば添削するので、各自積極的に勉強に取り組んでほしい。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等 / 同学社 / / サブテキスト(自宅学習用)

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

最初の授業時に学生に知らせる。

## その他 / Others

## 中国語中級表現読解III (K)

11576

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

発音・語彙・文法全般にわたって習得したものを確認し、自ら読める・話せるレベルに向けドリルを中心に行う。ただしテキストは予習すべき事項が多く、授業時に電子辞書を引ながら対応できるものではない。予習をして疑問点を明確にしておくこと。

## 到達目標 / Attainment Objectives

中国人が書いたものを基本的には理解できる。使える表現を用いて大胆に話す。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中国語初級・中級

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音の復習とドリル	音節
2	発音と綴り	表記
3	単文	名詞、形容詞、動詞
4	強調表現	否定副詞、程度副詞
5	名詞や動詞を複雑にする	修飾語
6	尋ねる	疑問文
7	複雑な文型(1)	二重主語文、二重目的語文
8	複雑な文型(2)	場所表現
9	複雑な文型(3)	助動詞
10	複雑な文型(4)	結果補語、方向補語
11	複雑な文型(5)	状態補語、可能補語
12	複雑な文型(6)	連動文、重ね型
13	複雑な文型(7)	「把」構文、「被」構文
14	複雑な文型(8)	「是…的」構文、複文
15	まとめとテスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

泳げるようになってからプールに行くことはない。プールに行きながら泳ぎながら上達する。外国語の学習も同じことである。話しながらよりうまくなる、読みながらより正確に読めるようになる。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	50 %	分析的に読む力を評価する。
平常点評価	50 %	予習して授業にのぞんでいるか、正確な発音ができるかどうかを評価する。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

疑問点はいつでもどこでも尋ねる態度が肝要である。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中国語のしくみ』	中川正之 / 朝日出版社 / ISBN4-255-45067-6 /

## 参考書 / Reference Books

参考書・辞書については授業時適宜指示する。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Eメール: masnakag@fc.ritsumei.ac.jp

## その他 / Others



## 中国語中級表現読解Ⅳ (K)

10607

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

高校時に学習した中国語を、文法や語彙の面からさらに発展させていく。基本的にはテキストに沿って授業を進めていくが、適宜その他のテキスト(小説・エッセイ・ブログ・漫画)も読む予定。

## 到達目標 / Attainment Objectives

辞書片手に小説などを読みこなせるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	一年間のスケジュール説明および小テスト	
第2回	第1課「中国に行こう」	
第3回	第1課「中国に行こう」	
第4回	第2課「ウーロン茶を飲もう」	
第5回	第2課「ウーロン茶を飲もう」	
第6回	第3課「友だちをつくろう」	
第7回	第3課「友だちをつくろう」	
第8回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
第9回	第4課「長城に登ろう」	
第10回	第4課「長城に登ろう」	
第11回	第5課「漢字を覚えよう」	
第12回	第5課「漢字を覚えよう」	
第13回	第6課「街を歩こう」	
第14回	第6課「街を歩こう」	
第15回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	
平常点評価	50 %	出席、予習、宿題、授業中の発言

辞書が必要です。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語 さらなる一歩	竹島金吾他 / 白水社 / ISBN978-4-560-06910-3 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## 中国語中級表現読解V (K)

10631

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

に学習した中国語を、文法や語彙の面からさらに発展させていく。基本的にはテキストに沿って授業を進めていくが、適宜その他のテキスト(小説・エッセイ・ブログ・漫画)も読む予定。

## 到達目標 / Attainment Objectives

辞書片手に小説などを読みこなせるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	第7課「中国映画を見よう」	
第2回	第7課「中国映画を見よう」	
第3回	第8課「シルクを買おう」	
第4回	第8課「シルクを買おう」	
第5回	第9課「中華を食べよう」	
第6回	第9課「中華を食べよう」	
第7回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
第8回	第10課「太極拳を習おう」	
第9回	第10課「太極拳を習おう」	
第10回	第11課「水滸伝を楽しもう」	
第11回	第11課「水滸伝を楽しもう」	
第12回	第12課「春節を過ごそう」	
第13回	第12課「春節を過ごそう」	
第14回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
第15回	テスト返却及び解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	
平常点評価	50 %	出席、予習、宿題、授業中の発言

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語 さらなる一歩	竹島金吾他 / 白水社 / ISBN978-4-560-06910-3 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## スペイン語と社会I(単位回復) (Z1)

11629

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

基本的なスペイン語の語彙, 表現, 文法, 発音を身につける。  
 スペイン語が話されている地域(スペインとラテンアメリカ)の社会, 文化についての知識を身につける。  
 できるだけ視聴覚教材(ビデオ, DVD等)を用いて理解を助ける。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語検定5級

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第0課: スペイン語を話す国々	文字と発音
	第1課: Buenos dias.	あいさつ表現
	第2課: ?Eres espanol?	Ser
	第3課: Un cafe, por favor.	名詞, 定冠詞と不定冠詞
	第4課: ?Donde estas?	形容詞
	第5課: ?Hay huevos?	数字
	第6課: ?Preparas una paella?	動詞
	第7課: Yo te regalo un libro.	人称代名詞
	第8課: Tengo hambre.	動詞
	第9課: Me gusta mucho.	Gustar
	第10課: Me llamo Ana.	再帰動詞
	第11課: !Espera!	命令形
	上記のように教科書に沿って進める(教科書は11課までしかない)。	
	授業は15回行うが, 毎回の授業と教科書の課は一致しない。	
	受講生の理解度を確認しながら進度を調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

当然のことであるが, 予習, 復習を確実にすること。  
 できるだけ休まないで毎回出席することが何よりも大切である。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1) 小テスト 2) 小レポート 3) コミュニケーションペーパー 3) 授業への積極的な参加

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン料理はいかが?	土井裕文, 他 / 同学社 / 978-4-8102-0370-7 /

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>  
 DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>

スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

ラテンアメリカ基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latinamerica.html>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

## スペイン語と社会II(単位回復) (Z1)

12138

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語圏(スペイン、ラテンアメリカ)諸国の社会を、項目別に学び、それらの国々についての基礎的知識を身につけることを目標とする。そのために毎授業でビデオ、DVDなども活用する。また、基本的なスペイン語表現も併せて学習する。学期を通して計3回(5回の授業に1回)程度、スペイン語圏に関する基礎的知識、スペイン語の基本的表現を問う小テストを行う。

## 到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語圏に関する基礎的知識、スペイン語の基本的表現の習得

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス(スペイン語と社会)	
2	スペインとは そのイメージ	
3	ラテンアメリカのスペイン語圏	
4	スペインの歴史(1)	
5	スペインの歴史(2)、小テスト	
6	ラテンアメリカの歴史(1)、小テスト の解答・解説	
7	ラテンアメリカの歴史(2)	
8	スペインの政治	
9	ラテンアメリカの政治	
10	スペインの食文化、小テスト	
11	ラテンアメリカの食文化、小テスト の解答・解説	
12	スペインの音楽	
13	ラテンアメリカの音楽	
14	スペインのスポーツ サッカーなど 、小テスト	
15	ラテンアメリカのスポーツ サッカーなど 、小テスト の解答・解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1)小テスト 2)レポート 3)授業、またDVDの内容に関する感想やコメント 4)授業への積極的な参加、授業態度、出席(3分の2以上) 合格するためには、これらの要素がいずれも欠けてはならず、また一定基準を満たさなければならぬ。

小テストに加えて、スペイン語圏の社会や文化に関するレポートを作成する。レポートは最終授業日までの提出を厳守すること。以後の提出は、いかなる理由があっても認めない。

レポート、授業内容、また成績評価については、初回の授業で詳しく説明する。以後の授業では、それらの詳細に関して再度説明することはないので十分注意すること。

また、授業中の理由なき退室や遅刻、携帯電話の使用などの行為については、平常点からその都度減点するので、自身の行動に責任を持って授業に出席すること。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

プリントを配布する。毎回授業内容についてのレジュメを用意するが、授業内でしか配布しないので注意すること。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『スペイン・ポルトガルを知る事典』	池上岑夫、他監修 / 平凡社 / 4582126324 /
『ラテンアメリカを知る事典』	大貫良夫、他監修 / 平凡社 / 4582126251 /
『現代スペイン情報ハンドブック 改訂版』	坂東省次、戸門一衛、碓順治、編 / 三修社 / 4384019575 /
『概説ラテンアメリカ史』	国本伊代 / 新評論 / 479480511X /

『スペイン(ヨーロッパ読本)』 碓順治、編 / 河出書房新社 / 4309619045 /

『ラテンアメリカの歴史』 高橋均 / 山川出版社 / 463434260X /

『物語 スペインの歴史』 岩根園和 / 中央公論新社 / 4121016351 /

『ラテンアメリカ』 加茂雄三、他著 / 自由国民社 / 4426137012 /

『ぎりぎり合格への論文マニュアル』 山内志朗 / 平凡社 / 4582851037 /

『新版 大学生のためのレポート・論文術』 小笠原喜康 / 講談社 / 4062880213 /

これらの文献は、授業だけでなく、レポート作成においての基本参考文献としても活用することが望ましい。

#### 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

#### 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業時に指示する。

#### その他 / Others

## スペイン語と文化I(単位回復) (Z1)

13331

担当者名 / Instructor 福森 雅史

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基礎文法とスペイン文化について学習します。また、文を作る上で必要不可欠となる語彙に関しても、どのようにすればより多くの語彙を身につけられるようになるかについても学習していきます。その際、多くの人が中学・高校で学習した英語の知識を活用することで、一見難解にも思えるスペイン語も決して難しいものではないことを理解してもらえたら、と考えています。

授業は簡単なスペイン語文の読み書きの練習や、ペアやグループによる会話練習、および語彙習得を中心に行います。また、講義形式の説明だけでなく、時にはクイズをしたり、ビデオやDVDの鑑賞などを通じて、スペイン文化についても紹介していきます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介をはじめ、日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン文化に対する知識を得ることで、スペインおよびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	アルファベット / スペイン語とスペイン語圏の国々について	
第2回	発音・アクセント / 挨拶	
第3回	名詞・冠詞(1) / 生活習慣(1)	
第4回	名詞・冠詞(2) / 生活習慣(2)	
第5回	第1回小テストとその解説	
第6回	形容詞(1) / 生活習慣(3)	
第7回	形容詞(2) / 生活習慣(4)	
第8回	第2回小テストとその解説	
第9回	規則変化動詞(1) / 建築・美術(1)	
第10回	規則変化動詞(2) / 建築・美術(2)	
第11回	第3回小テストとその解説	
第12回	ser動詞とestar動詞(1) / 建築・美術(3)	
第13回	ser動詞とestar動詞(2) / 建築・美術(4)	
第14回	第4回小テストとその解説	
第15回	まとめの確認テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

特に予習をする必要はありませんが、授業の内容を定着させるためにも、毎回の復習は必ず行なうよう心がけて下さい。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「大学」という4年間は社会に出る前の最後の準備期間です。この間に、社会に出た後から困らないよう専攻科目の勉強は勿論のこと、一般的な社会常識やマナー、果ては雑学と呼ばれるものに至るまで様々な知識を身につけて下さい。思いもかけないところでそうした知識が生きてくる時が必ずやって来ます。そのためにも単に授業に参加するという気持ちではなく、「人よりも一つでも多くの知識を身につけよう」という気持ちで授業を受けてみて下さい。

## 教科書 / Textbooks

適宜プリントを配布します

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 978-4-560-00677-1 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>  
 DELE : <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>  
 スペイン基本情報(外務省) : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

以下のアドレスにメールを送って下さい。  
fukumori74@yahoo.co.jp

その他 / Others



## スペイン語と文化II(単位回復) (Z1)

15979

担当者名 / Instructor 福森 雅史

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基礎文法とスペイン文化について学習します。また、文を作る上で必要不可欠となる語彙に関しても、どのようにすればより多くの語彙を身につけられるようになるかについても学習していきます。その際、多くの人が中学・高校で学習した英語の知識を活用することで、一見難解にも思えるスペイン語も決して難しいものではないことを理解してもらえたら、と考えています。

授業は簡単なスペイン語文の読み書きの練習や、ペアやグループによる会話練習、および語彙習得を中心に行います。また、講義形式の説明だけでなく、時にはクイズをしたり、ビデオやDVDの鑑賞などを通じて、スペイン文化についても紹介していきます。

## 到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介をはじめ、日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン文化に対する知識を得ることで、スペインおよびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	前期の復習	
第2回	不規則変化動詞(1) / 食べ物(1)	
第3回	不規則変化動詞(2) / 食べ物(2)	
第4回	不規則変化動詞(3) / 食べ物(3)	
第5回	第1回小テストとその解説	
第6回	目的格代名詞(1) / 祭り・観光(1)	
第7回	目的格代名詞(2) / 祭り・観光(2)	
第8回	第2回小テストとその解説	
第9回	gustar型動詞(1) / 文学・思想(1)	
第10回	gustar型動詞(2) / 文学・思想(2)	
第11回	第3回小テストとその解説	
第12回	再帰動詞(1) / 歴史(1)	
第13回	再帰動詞(2) / 歴史(2)	
第14回	第4回小テストとその解説	
第15回	まとめの確認テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

特に予習をする必要はありませんが、授業の内容を定着させるためにも、毎回の復習は必ず行なうよう心がけて下さい。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「大学」という4年間は社会に出る前の最後の準備期間です。この間に、社会に出てから困らないよう専攻科目の勉強は勿論のこと、一般的な社会常識やマナー、果ては雑学と呼ばれるものに至るまで様々な知識を身につけて下さい。思いもかけないところでそうした知識が生きてくる時が必ずやって来ます。そのためにも単に授業に参加するという気持ちではなく、「人よりも一つでも多くの知識を身につけよう」という気持ちで授業を受けてみて下さい。

## 教科書 / Textbooks

適宜プリントを配布します

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 978-4-560-00677-1 /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>  
 DELE : <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>  
 スペイン基本情報(外務省) : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

以下のアドレスにメールを送って下さい。  
fukumori74@yahoo.co.jp

その他 / Others

## ドイツ語と社会I(単位回復) (Z1)

12123

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、ドイツの社会や文化を紹介する授業です。  
 授業時間の内訳は、  
 授業の前半 - - - 教科書を使っての授業時間その1。  
 社会の時間 - - - ドイツZDFのニュースを見てもらいます。  
 授業の後半 - - - 教科書を使っての授業時間その2。  
 文化の時間 - - - オペラ(たぶんワグナー)を見てもらいます。  
 という感じです。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。  
そのために、テキストは自習のできる参考書にしています。
- 2、ドイツの歌を聞いて、覚える。  
小テストの一つは、歌を暗誦するという内容です。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で22章です。初めの頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1章、動詞の人称変化。2章、名詞の性	
2	3章、名詞と冠詞の格変化。4章、不規則な人称変化	
3	5章、前置詞の格支配。6章、語順	
4	7章、並列接続詞と従属接続詞。8章、名詞の複数形	
5	9章、冠詞類の格変化。10章、形容詞の格変化	
6	11章、分離動詞。12章、話法の助動詞	
7	13章、人称代名詞と再帰代名詞。14章、命令形	
8	15章、過去形。16章、過去分詞の作り方	
9	17章、完了時制	
10	18章、受動文	
11	19章、zu不定詞	
12	20章、比較表現	
13	21章、関係文	
14	22章、接続法	
15	検証テスト(60分)およびまとめ(30分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 覚えておかねばならない部分について、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6=60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ゼロから始めるドイツ語	在間進 / 三修社 / / 自分の力でドイツ語が習得できます

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、  
図書館の視聴覚ルームにもたくさんドイツのビデオがありますから、  
ぜひ見てみて下さい。

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、ドイツの社会や文化を紹介する授業です。  
 授業時間の内訳は、  
 授業の前半 - - - 教科書を使つての授業時間その1。  
 社会の時間 - - - ドイツZDFのニュースを見てもらいます。  
 授業の後半 - - - 教科書を使つての授業時間その2。  
 文化の時間 - - - オペラ(たぶんワグナー)を見てもらいます。  
 という感じです。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。  
そのために、テキストは自習のできる参考書にしています。
- 2、ドイツの歌を聞いて、覚える。  
小テストの一つは、歌を暗誦するという内容です。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で20章です。初めの頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1章、こんにちは(あいさつ)。2章、あれは何ですか(Was ist das?)	
2	3章、ケルン大聖堂(名詞の性)。4章、どこにお住まいですか(動詞の人称変化)	
3	5章、失礼ですが(疑問文と命令文)。6章、どこにいるの(du)	
4	7章、私の名はアンネッテ(格)。8章、日曜日に、(名詞の複数形)	
5	9章、兄弟姉妹(不定冠詞)。10章、バスで(ちょっと変わった動詞)	
6	11章、郵便局で(話法の助動詞)。12章、よろしいでしょうか(再帰動詞)	
7	13章、バスの中で(分離動詞)	
8	14章、運転免許証(動詞の過去、過去分詞)	
9	15章、赤いネクタイ(どの)	
10	16章、何かニュースある?(形容詞の名詞化)	
11	17章、ランイ河畔のケルン(形容詞の比較)	
12	18章、ライン河は悠々と流れる(完了形)	
13	19章、アウトバーン(関係代名詞)	
14	20章、素晴らしいだろうに(接続法)	
15	検証テスト(60分)およびまとめ(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 覚えておかなければならない部分について、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6=60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

**参考書 / Reference Books**

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

授業中に指示する。

**その他 / Others**

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、  
図書館の視聴覚ルームにもたくさんドイツのビデオがありますから、  
ぜひ見てみて下さい。

## ドイツ語と文化I(単位回復) (Z1)

13333

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の習得とドイツ文化事情の幅広い理解を目指す。授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回、プリントを使用して文法事項の説明と数多くの練習問題をこなしていく。さらにドイツの歴史や文化事情を適時、紹介していく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明、プリント配布。
第2回目	ドイツ語の発音。動詞の現在人称変化(1)	ウムラウトの説明と発音練習。二重母音、注意すべき子音の発音練習。 規則動詞の人称変化の説明と練習。
第3回目	文章構造	定動詞の位置。決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
第4回目	検証テストと解説・ドイツという国(1)	第1回目から第3回目までの検証テスト(5月12日) 欧州におけるドイツの位置。ドイツ語圏の国々。
第5回目	動詞の現在人称変化(2)	sein, haben等の重要な不規則動詞の人称変化の説明と練習。
第6回目	動詞の現在人称変化(3)	不規則動詞の人称変化の説明と練習。
第7回目	名詞の性、数、格変化(1)	定冠詞と不定冠詞(1格)の説明と練習。
第8回目	検証テストと解説・ドイツという国(2)	第5回目から第7回目までの検証テスト(6月2日) ドイツ国内の地誌
第9回目	名詞の格変化(2)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(4格)の説明と練習。
第10回目	名詞の格変化(3)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(3格)の説明と練習。
第11回目	冠詞類	否定冠詞ならびに所有冠詞の説明と練習。
第12回目	検証テストと解説・ドイツの大まかな歴史(1)	第9回目から第11回目までの検証テスト(6月30日) 敗戦までのドイツ。
第13回目	前置詞	前置詞の格支配の説明と練習。
第14回目	話法の助動詞	助動詞構文の説明と練習。
第15回目	最終検証テストと解説・ドイツの大まかな歴史(1)	第1回目から第14回目までの検証テストと解説(7月21日) 敗戦後のドイツ。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	4回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

練習問題用のプリントは第1回目の授業で配布する。受け取れなかった場合、その旨を伝え、次の授業日に必ず受け取るように。

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

www.young-germany.jp (東京のドイツ大使館が日本の若者に現代ドイツを紹介している日本語ウェブサイト)。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回目の授業でメールアドレスを伝える。

その他 / Others



## ドイツ語と文化II(単位回復)(Z1)

15981

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の習得とドイツ文化事情の幅広い理解を目指す。授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回、プリントを使用して文法事項の説明と数多くの練習問題をこなしていく。さらに適時、ドイツとオーストリアの文化事情を文学、絵画等の各分野に分けて紹介していく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。 ドイツ語 で習得した文法事項の総復習。
第2回目	複合動詞	分離動詞と非分離動詞の説明と練習。
第3回目	前置詞 + 人称代名詞、疑問代名詞	damitやwomit等の説明と練習
第4回目	検証テストと解説・多民族国家としての世紀末ウィーン	第1回目から第3回目までの検証テスト(10月20日)
第5回目	形容詞と副詞(1)	形容詞と副詞の用法、形容詞の格変化の説明と練習。
第6回目	形容詞と副詞(2)	形容詞と副詞の比較表現の説明と練習。
第7回目	動詞の三基本形(1)	規則動詞・不規則動詞三基本形の説明と練習。
第8回目	検証テストと解説・世紀末ウィーンの文学	第5回目から第7回目までの検証テスト(11月17日)
第9回目	動詞の三基本形(2)と過去人称変化	複合動詞の三基本形の説明と練習。過去形の作り方の説明と練習。
第10回目	完了表現(1)	現在完了形の用法と作り方。
第11回目	完了表現(2)・未来形	未来・過去・完了表現の説明と練習。
第12回目	検証テストと解説・世紀末ウィーンの絵画	第9回目から第11回目までの検証テスト(12月15日)
第13回目	再帰代名詞・再帰動詞・非人称動詞	再帰的表現の説明と練習。非人称動詞の説明。
第14回目	総復習・多民族国家になりつつあるドイツ	第2回目から第13回目までの総復習。
第15回目	最終検証テストと解説	第1回目から第14回目までの検証テストと解説(1月19日)

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

練習問題用のプリントは第1回目の授業で配布する。受け取れなかった場合、その旨を伝え、次の授業日に必ず受け取るように。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	4回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

www.young-germany.jp (東京のドイツ大使館が日本の若者に現代ドイツを紹介している日本語ウェブサイト)。

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回目の授業でメールアドレスを伝える。

## その他 / Others

## フランス語と社会I(単位回復)(Z1)

11625

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	世界のフランス語圏	主語人称代名詞、不定冠詞、定冠詞、avoir, etre
2	フランスの地理	否定文、品質形容詞、er動詞、数字(1~30)
3	パリの街	疑問文の作り方(基本形・疑問詞) faire, finir
4	パリの歴史	部分冠詞、数量の表現、prendre, manger, boire
5	結婚と家族	疑問形容詞、非人称動詞、数字(30~69)vouloir, pouvoir
6	フランスの経済	補語人称代名詞、connaitre, savoir
7	フランス人の労働	代名動詞、ジェロンディフ
8	前半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	フランスの政治	複合過去形
10	フランスの農業	半過去形
11	フランスの移民問題	複合過去形と半過去形の使い分け
12	フランスの歴史	中性代名詞
13	日仏関係	単純未来形
14	フランスとEU	関係代名詞、受動態
15	後半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。  
立命館大学ホームページ 在学生の皆さまへ コースツール フランス語と社会I(単位回復)(Z1) 講義レジュメ

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## フランス語と社会II(単位回復)(Z1)

11639

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	パリという街	挨拶、名前、職業、主語人称代名詞、不定冠詞、定冠詞、etre
2	フランス国内旅行	年齢、家族のこと、否定文、品質形容詞、数字(1~30)、avoir
3	日仏関係	er動詞を使った表現、疑問文の作り方(基本形)
4	フランスとEU	所有形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
5	フランス人とスポーツ	疑問文の作り方(疑問代名詞&疑問副詞)、faire、finir
6	フランス人とヴァカンス	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約、aller、venir
7	フランスの学校	疑問形容詞、非人称動詞、数字(31~69)
8	前半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	フランスの料理	部分冠詞、数量の表現、prendre、manger、boire
10	女性の社会進出	比較級、最上級、connaitre、savoir、pouvoir
11	フランスの経済	複合過去形
12	フランスの政治	単純未来形
13	フランスの移民問題	関係代名詞
14	つづり字と発音	
15	後半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。  
立命館大学ホームページ 在学生の皆さまへ コースツール フランス語と社会II(単位回復)(Z1) 講義レジュメ

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## フランス語と文化I(単位回復)(Z1)

13334

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

フランス語の基礎を復讐しなおすとともに、歴史・芸術・音楽・映画などのフランスの文化を紹介します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語と文化に対する理解を深めていくこと。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語の発音。フランスの地理。	発音
2	フランス語の発音。フランス語の歴史(1)	言語の歴史
3	名詞の性と数、不定冠詞、「それは～である」という提示表現、動詞etreの活用。フランス語の歴史(2)	
4	定冠詞、数詞、第一群規則動詞の活用。フランス語の歴史(3)	
5	形容詞、動詞avoirの活用。名前(ファーストネーム)	
6	疑問文・否定文の作り方、所有形容詞、指示形容詞。印象派と日本	
7	疑問代名詞、不規則動詞aller,venirの活用。ヴァカンス。	
8	近接未来と近接過去。日本アニメ	
9	疑問副詞。方言・地域語	
10	部分冠詞。食べ物・食べ方	
11	不規則動詞pouvoirとvouloirの活用。シャンソン(1)	
12	中性代名詞。シャンソン(2)	
13	時間表現。シャンソン(3)	
14	天候や寒暖に関する表現。映画(1)	
15	非人称表現。映画(2)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	3分2以上の出席と5～6回おこなう予定の小テストを3回以上受けていることが必須条件です。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ラルカンシエール	江島泰子 / 第三書房 / 978-4-8086-2006-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## フランス語と文化II(単位回復) (Z1)

15982

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

フランス語の基礎を学びなおすとともに、歴史・芸術・音楽・映画などのフランス文化を紹介します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語とその文化に対する愛着とより深い理解を涵養すること。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	よく使う不規則動詞の現在活用, スポーツ	
2	疑問代名詞, 疑問副詞, 世界遺産(1)	
3	非人称表現, 世界遺産(2)	
4	Il y a「～がある」, 祝祭日,	
5	中性代名詞y,en, 移民問題	
6	命令法, 教育	
7	目的補語人称代名詞(1), フランス語の歴史(1)	
8	目的補語人称代名詞(2), フランス語の歴史(2)	
9	現在分詞とジェロンディフ, EUの言語政策,	
10	数詞, シャンソン(1)	
11	複合過去(1)シャンソン(2)	
12	複合過去(2)シャンソン(3)	
13	比較級と最上級, 料理,	
14	代名動詞(1), 映画(1)	
15	代名動詞(2)映画(2)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	3分2以上の出席があること、5～6回おこなう予定の小テストを三回以上受けていることが必須条件です。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ラルカンシエール	江島泰子 / 第三書房 / 978-4-8086-2006-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## 基本スペイン語(単位回復)(A)

11059

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

基本文法を確認し、CDやDVDを活用しながらスペイン語圏の文化についても講義していく。  
学生の要望やレベルによって内容は調整する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン語圏の文化的基礎知識を身につけること。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、基本表現、アルファベット	
2	母音と子音、アクセント	
3	名詞と冠詞	
4	形容詞、数詞	
5	小テスト、小テスト後、SER動詞	
6	SER動詞、疑問詞	
7	指示形容詞	
8	ESTAR動詞	
9	SERとESTAR動詞の復習	
10	第6回目の講義からのまとめ	
11	小テスト、小テスト後、動詞HABER、ESTARとの違い	
12	所有形容詞前置形	
13	基本表現の確認	
14	総復習と小テスト	
15	小テスト 返却と解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

語学を学ぶには、復習が基本である。毎回の講義に出席し、内容を必ず復習すること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1) 小テスト 2) 出席・授業への積極的な参加

3回の小テストで成績を付ける。  
成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書を必ず持参すること。

## 教科書 / Textbooks

プリントを配布。

## 参考書 / Reference Books

授業内で指示。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 基本スペイン語(単位回復)(B)

11067

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

基本文法を確認し、CDやDVDを活用しながらスペイン語圏の文化についても講義していく。  
学生の要望やレベルによって内容は調整する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン語圏の文化的基礎知識を身につけること。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、基本表現、アルファベット	
2	母音と子音、アクセント	
3	名詞と冠詞	
4	形容詞、数詞	
5	小テスト、小テスト後、SER動詞	
6	SER動詞、疑問詞	
7	指示形容詞	
8	ESTAR動詞	
9	SERとESTAR動詞の復習	
10	第6回目の講義からのまとめ	
11	小テスト、小テスト後、動詞HABER、ESTARとの違い	
12	所有形容詞前置形	
13	基本表現の確認	
14	総復習と小テスト	
15	小テスト 返却と解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

語学を学ぶには、復習が基本である。毎回の講義に出席し、内容を必ず復習すること。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1) 小テスト 2) 出席・授業への積極的な参加

3回の小テストで成績を付ける。  
成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書を必ず持参すること。

## 教科書 / Textbooks

プリントを配布。

## 参考書 / Reference Books

授業内で指示。

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 基本ドイツ語(単位回復)(A)

11057

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

基本ドイツ語の単位を回復するためのクラスである。アルファベットから始めてドイツ語の発音、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞、話法の助動詞を中心に授業を進めていく。クラスではまず各文法事項の説明を行い、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語検定4級程度の内容とし、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回目)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。 アルファベット。
第2回目	ドイツ語の発音。動詞の現在人称変化(1)	ウムラウトの説明と発音練習。二重母音、注意すべき子音の発音練習。 規則動詞の人称変化の説明と練習。
第3回目	文章構造	定動詞の位置。決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
第4回目	検証テストと解説	第1回目から第3回目までの検証テスト(5月11日)
第5回目	動詞の現在人称変化(2)	sein, haben等の重要な不規則動詞の人称変化の説明と練習。
第6回目	動詞の現在人称変化(3)	不規則動詞の人称変化の説明と練習。
第7回目	名詞の性、数、格変化(1)	定冠詞と不定冠詞(1格)の説明と練習。
第8回目	検証テストと解説	第5回目から第7回目までの検証テスト(6月1日)
第9回目	名詞の格変化(2)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(4格)の説明と練習。
第10回目	名詞の格変化(3)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(3格)の説明と練習。
第11回目	冠詞類	否定冠詞ならびに所有冠詞の説明と練習。
第12回目	検証テストと解説	第9回目から第11回目までの検証テスト(6月29日)
第13回目	前置詞	前置詞の格支配の説明と練習。
第14回目	話法の助動詞	助動詞構文の説明と練習。
第15回目	最終検証テストと解説	第1回目から第14回目までの検証テストと解説(7月20日)

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

練習問題用のプリントは第1回目の授業で配布する。受け取れなかった場合、その旨を伝え、次の授業日に必ず受け取るように。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	4回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回目の授業でメールアドレスを伝える。

## その他 / Others



## 基本ドイツ語(単位回復)(B)

11064

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

基本ドイツ語の単位を回復するためのクラスである。アルファベットから始めてドイツ語の発音、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞、話法の助動詞を中心に授業を進めていく。クラスではまず各文法事項の説明を行い、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていく。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語検定4級程度の内容とし、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。 アルファベット。
第2回目	ドイツ語の発音。動詞の現在人称変化(1)	ウムラウトの説明と発音練習。二重母音、注意すべき子音の発音練習。 規則動詞の人称変化の説明と練習。
第3回目	文章構造	定動詞の位置。決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
第4回目	検証テストと解説	第1回目から第3回目までの検証テスト(10月19日)
第5回目	動詞の現在人称変化(2)	sein, haben等の重要な不規則動詞の人称変化の説明と練習。
第6回目	動詞の現在人称変化(3)	不規則動詞の人称変化の説明と練習。
第7回目	名詞の性、数、格変化(1)	定冠詞と不定冠詞(1格)の説明と練習。
第8回目	検証テストと解説	第5回目から第7回目までの検証テスト(11月16日)
第9回目	名詞の格変化(2)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(4格)の説明と練習。
第10回目	名詞の格変化(3)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(3格)の説明と練習。
第11回目	冠詞類	否定冠詞ならびに所有冠詞の説明と練習。
第12回目	検証テストと解説	第9回目から第11回目までの検証テスト(12月14日)
第13回目	前置詞	前置詞の格支配の説明と練習。
第14回目	話法の助動詞	助動詞構文の説明と練習。
第15回目	最終検証テストと解説	第1回目から第14回目までの検証テストと解説(1月18日)

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

練習問題用のプリントは第1回目の授業で配布する。受け取れなかった場合、その旨を伝え、次の授業日に必ず受け取るように。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	4回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回目の授業でメールアドレスを伝える。

## その他 / Others

## 基本フランス語(単位回復)(A)

11058

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級～5級レベル)の習得を目標とする。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	主語人称代名詞、形容詞、不定冠詞、定冠詞、avoir、etre	
2	否定文、所有形容詞、指示形容詞、数詞(1～30)er動詞	
3	疑問文、疑問代名詞、前置詞と冠詞の縮約、aller、venir	
4	疑問文の作り方(疑問代名詞&疑問副詞)finir、faire	
5	部分冠詞、数量の表現、指示代名詞、prendre、manger、boire	
6	比較級、最上級	
7	補語人称代名詞、connaître、savoir	
8	前半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	代名動詞、強勢形人称代名詞	
10	複合過去形	
11	半過去形	
12	単純未来形	
13	中性代名詞	
14	関係代名詞、受動態	
15	後半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。  
立命館大学ホームページ 在学生の皆さまへ コースツール 基本フランス語(単位回復)(A) 講義レジュメ

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## 基本フランス語(単位回復)(B)

11065

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

## 到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級～5級レベル)の習得を目標とする。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	あいさつ、名前、職業を言う	主語人称代名詞、etre、faire、s'appeler
2	年齢を言う、兄弟のことを話す	不定冠詞、数字(1～30)avoir
3	住んでいるところ、好きなものを言う	定冠詞、er動詞(1)
4	～語を話す、～を着ている、食事する、スポーツする	冠詞の使い分け、er動詞(2)
5	人やものの特徴を言う	品質形容詞、疑問文の作り方(基本形)、否定文
6	誰のものかを言う	所有形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
7	これからすること、したばかりのことを話す	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約、aller、venir
8	前半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	家かマンションかワンルームか、家の間取りを言う	位置関係の表現、序数詞
10	道順の言い方	命令形
11	時刻を言う、天候を言う	疑問形容詞、非人称動詞、数字(30～69)
12	一週間・一日の生活を話す	さまざまな動詞
13	いつ、だれ、どこ、なに、どうやって?	疑問文の作り方(疑問代名詞&疑問副詞)
14	つづり字と発音	
15	後半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。下記のサイトにプリントをアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。  
立命館大学ホームページ 在学生の皆さまへ コースツール 基本フランス語(単位回復)(B) 講義レジュメ

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## 基本中国語(単位回復)(A)

11626

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音編: 1) 四声と短母音を覚えましょう~ 3) 複母音を覚えましょう。小テスト。	
2	発音編: 4) nとngの区別をしましょう~ 6) 中国語の世界。	
3	第1課: 表現のポイント: 判断文・疑問文、その他。小テスト。	
4	第1課: 本文「初対面の挨拶と自己紹介」。朗読テスト。	
5	第2課: 表現のポイント: 動詞述語文、その他。小テスト。	
6	第2課: 本文「出身地・家族構成・職業を語る」。朗読テスト。	
7	第3課: 表現のポイント: 形容詞述語文、その他。小テスト。	
8	第3課: 本文「大学生活を語る」。朗読テスト。	
9	第4課: 表現のポイント: 存在をあらわす表現、その他。小テスト。	
10	第4課: 本文「道順を聞く」。朗読テスト。	
11	第5課: 表現のポイント: アスペクト助詞、その他。小テスト。	
12	第5課: 本文「買い物」。朗読テスト。	
13	第6課: 表現のポイント: 様態補語・程度補語、その他。小テスト。	
14	第6課: 本文「料理を注文す」。朗読テスト。	
15	試験(60分)。授業の総まとめ(30分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、小テスト、朗読テスト、学習到達度テスト。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか / 郁文堂 / 978-4-261-01837-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 基本中国語(単位回復)(B)

11640

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音編: 1) 四声と短母音を覚えましょう~ 3) 複母音を覚えましょう。小テスト。	
2	発音編: 4) nとngの区別をしましょう~ 6) 中国語の世界。	
3	第1課: 表現のポイント: 判断文・疑問文、その他。小テスト。	
4	第1課: 本文「初対面の挨拶と自己紹介」。朗読テスト。	
5	第2課: 表現のポイント: 動詞述語文、その他。小テスト。	
6	第2課: 本文「出身地・家族構成・職業を語る」。朗読テスト。	
7	第3課: 表現のポイント: 形容詞述語文、その他。小テスト。	
8	第3課: 本文「大学生活を語る」。朗読テスト。	
9	第4課: 表現のポイント: 存在をあらわす表現、その他。小テスト。	
10	第4課: 本文「道順を聞く」。朗読テスト。	
11	第5課: 表現のポイント: アスペクト助詞、その他。小テスト。	
12	第5課: 本文「買い物」。朗読テスト。	
13	第6課: 表現のポイント: 様態補語・程度補語、その他。小テスト。	
14	第6課: 本文「料理を注文す」。朗読テスト。	
15	試験(60分)。授業の総まとめ(30分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、小テスト、朗読テスト、学習到達度テスト。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか / 郁文堂 / 978-4-261-01837-0 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 基本朝鮮語(単位回復)(A)

11627

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級の合格を目指し、朝鮮語運用能力の基礎的な部分を習得する。  
母音・子音の習得と発音の練習に始まり、挨拶の言葉、ハングルの短文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。

## 到達目標 / Attainment Objectives

ハングル検定4級に合格できる朝鮮語運用能力をつける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	授業の進め方、レベルチェック等
2-3	文字と発音	母音・子音・パッチム・連音
4-5	指定詞・存在詞を使った平叙文・否定文	私は～です / ではありません。～があります / ありません
6	位置を表す言葉、疑問詞、助詞のまとめ	冷蔵庫の中に牛乳があります。これは何ですか？
7	復習・小テスト	
8	固有数詞と漢数詞	「ひとつ」と「一」
9-11	動詞・形容詞を使った平叙文、うちとけた「です・ます」形	私は～します。うれしいです。
12	動詞・形容詞を使った否定文	今日は行きません。
13	尊敬の表現	召し上がりますか？
14	まとめと復習	
15	検証テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に行う小テスト、復習テスト、最終講義日の検証テストを総合的に評価する。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

授業中に指示する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## 基本朝鮮語(単位回復)(B)

11641

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

## 授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級の合格を目指し、朝鮮語運用能力の基礎的な部分を習得する。  
母音・子音の習得と発音の練習に始まり、挨拶の言葉、ハングルの短文を読み、書き、聞き取ることができるようにする

## 到達目標 / Attainment Objectives

ハングル検定4級レベルの朝鮮語運用能力をつける。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	授業の進め方、レベルチェック等
2-3	文字と発音	母音・子音・パッチム・連音
4-5	指定詞・存在詞を使った平叙文・否定文	私は～です / ではありません。～があります / ありません
6	位置を表す言葉、疑問詞、助詞のまとめ	冷蔵庫の中に牛乳があります。これは何ですか？
7	復習・小テスト	
8	固有数詞と漢数詞	「ひとつ」と「一」
9-11	動詞・形容詞を使った平叙文、うちとけた「です・ます」形	私は～します。うれしいです。
12	動詞・形容詞を使った否定文	今日は行きません。
13	尊敬の表現	召し上がりますか？
14	まとめと復習	
15	検証テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に行う小テスト、復習テスト、最終講義日の検証テストを総合的に評価する。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

授業中に指示する。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

## その他 / Others

## 中国語と社会I(単位回復)(Z1)

12122

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

本授業は、中国語の基礎的な発音、基本的文法、入門会話を学びながら、各都市を代表する文化や社会、風習などに触れ、現代の中国社会を構成する基礎的な知識を得ることを目指します。視覚教材、資料などを取り入れて授業を行い、会話の場面、状況を理解して、会話練習を行います。授業を通して、現代の中国社会を多面的に理解する眼を育成し、今後の日中関係のあり方を考える端緒となることを希望します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1.中国語の発音をマスターし、ピンインを見て正しい発音ができるようになる
- 2.簡単な文法と文型の基礎を学び、日常会話のなかでそれらを用いた表現ができるようになる
- 3.国の文化と社会の基本的な知識を得る

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	授業の概要と導入 発音の基礎を学び、あいさつなどの基本的な単語を学びます。	言語、社会、文化、地理、発音、声調と単母音
第2週～第3週	発音の基礎を学びます	複合母音、子音、鼻母音、発音規則
第4週	北京 北京の社会、文化などについて、随時解説します。	北京、基本文型、指示詞、疑問詞疑問文
第5週	北京 北京の社会、文化などについて、随時解説する。	北京、基本文型、数詞と曜日、所在を表す動詞
第6週	北京 北京の社会、文化などについて、随時解説します。	北京、基本文型、正反疑問文、願望を表す助動詞
第7週	北京 北京の社会、文化などについて、随時解説します。	北京、連動文、文末の「了」、時刻の言い方
第8週	泰山・黄山	中国の名山、自己紹介、基本文型、「可以」、選択疑問文
第9週	西安	兵馬俑、年月日、数量詞、完了の「了」、時点と時間の幅
第10週	成都	四川料理、パンダ、基本文型、助動詞「要」、助動詞「会」、親族の言い方
第11週	九賚溝	中国映画、基本文型、前置詞「在」、助動詞「能」
第12週	雲南省	民族と少数民族、方位詞、存現文、様態補語、持続を表す助詞
第13週	雲南省	少数民族問題、人民元、基本文型、経験を表す助詞
第14週	大連	歴史認識、結果補語、基本文型、禁止の表現、介詞「給」
第15週	実用的な表現のまとめ・検証テスト	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

CDを用いた予習をおすすめします。事前に、CDを一度聴いておくだけでも、授業中、中国語の発音や表現を効率よく学ぶことができます。

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	<p>・授業中のミニレポート： 授業内容に関して考察したことを記述し、提出してもらいます(計八回程度、50%)。出席点とはとくに考慮しませんが、上記の提出回数が提出回数の半数以下の者は、単位認定の対象外とします。</p> <p>・検証テスト： 中国語の文章を聴いて理解し、正確に返答できるかを問います(50%)。</p>

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

自分が中国の何に対して興味を持つのか、あるいは何に対して疑問を覚えるのか、こうした問題意識を持って中国語を学習してください。語学は、取り組みやすい学問であるいっぽう、ただ覚えるだけでは、国際社会で通用しません。後の職業や進路、学習進捗状況に関わらず、中国語を使うことができた時にはじめて、学んだ意味や楽しさを実感することになります。世界や中国を、ますます身近に感じられる今日、中国語を習得することは、選択肢や視野、生活の幅を広げることに繋がります。



**教科書 / Textbooks**

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

『旅して学ぶ 中国語』

楊凱榮・張麗群 / 朝日出版社 / ISBN978-4-255-45184-8 C1087 / DVD、CD付き

-----  
必携です。必ず授業に持参してください。

**参考書 / Reference Books**

適宜授業中に紹介します。

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

授業中に指示する。

**その他 / Others**

## 中国語と社会Ⅱ(単位回復) (Z1)

12136

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

本授業は、中国語の基礎を学び、はなすこと、聞くことに慣れ、現代の中国に関する基本的な認識を得ることを目指します。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1.発音を復習し、相手に通じる発音ができるようにする
- 2.文法と文型の基礎を習得し、それをを用いてはなすこと、聞くことに慣れる
- 3.中国の文化と社会について理解が深化する

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	授業方法に関する相談と発音練習。中国基本情報について解説します。	中国、言語、発音練習
第2週	基本となるあいさつ。発音練習、ピンイン・鼻音。	コミュニケーション
第3週	第1課 中国と観光	文法、文型、会話練習
第4週	第1課 日本人の中国観	文法、文型、会話練習
第5週	第2課 現代中国成立過程の紹介	文法、文型、会話練習
第6週	第2課 現代中国の偉人	文法、文型、会話練習
第7週	第3課 中国の対外認識	文法、文型、会話練習
第8週	第3課 日本観	文法、文型、会話練習
第9週	第4課 家属について	文法、文型、会話練習
第10週	第4課 地震・オリンピック・万博	文法、文型、会話練習
第11週	第5課 中国の選挙	文法、文型、会話練習
第12週	第5課 中国のお化け	文法、文型、会話練習
第13週	第6課 中国の教育と試験	文法、文型、会話練習
第14週	文法と文型のまとめ	
第15週	主要な表現のまとめと検証テスト、発問を聴き正確に答えられるかを問います。	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中のミニレポート: 授業内容に関して考察したことを記述し、提出してもらいます(計八回程度、50%)。出席点はとくに考慮しませんが、上記の提出回数が提出回数の半数以下の者は、単位認定の対象外とします。</li> <li>・検証テスト: 中国語の文章を聴いて理解し、正確に返答できるかを問います(50%)。</li> </ul>

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

自分が中国の何に対して興味を持つのか、あるいは何に対して疑問を覚えるのか、こうした問題意識を持って中国語を学習してください。語学は、取り組みやすい学問であるいっぽう、ただ覚えるだけでは、国際社会で通用しません。後の職業や進路、学習進捗状況に関わらず、中国語を使うことができた時にはじめて、学んだ意味や楽しさを実感することになります。世界や中国を、ますます身近に感じられる今日、中国語を習得することは、選択肢や視野、生活の幅を広げることに繋がります。

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『北京上海リスニングツアー』	相原茂 / 朝日出版社 / 4-255-45030-7 /

必携。授業に必ず持参してください。

## 参考書 / Reference Books

随時授業中に紹介します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

## 中国語と文化I(単位回復) (Z1)

13338

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

発音や基本的な文法、使える文型など、中国語の基礎的な技術を習得しながら、現在の社会の成り立ちとかかわる根本的な要素について考える。

中国の存在が世界経済に甚大な影響を与えていること、そして日本が中国と協同していくことが、日本の安寧に有益であること、それは誰もが理解する当然のことである。しかし、日本は中国と近く、中国文化から受けた影響が深く、さらにさまざまな歴史的経過に縛られる故に、複雑な感情を中国に抱き、しばしば予断と偏見におちいりがちである。わかっていると思ひこむようでは実は誤解だらけ、そのような現状を突破するために、あえて中国の古典から考察することを試みる。前期は『史記』、二千年以上前から伝えられる希有な名著にして、いまなお中国人の思惟の背景に大きな影響を与える著作から、「原中国」の姿に触れてみる。

## 到達目標 / Attainment Objectives

まず、中国語の発音を習得し、ピンインを見れば発音ができるようになること。

次に、簡単な文型と文法の基礎を学びつつ、学んだ単語を用いて自在に表現ができるようになるまで慣れる。

かつ、文化と社会の基本的な知見を得る。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音の基礎を学び、あいさつや数字など、基本的な単語を学ぶ。中国語について。	
2	発音の基礎を学び、あいさつや数字など、基本的な単語を学ぶ。中国語について。	
3	文法の基礎、文型基礎を学ぶ。『史記』について、概略。	
4	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』項羽と劉邦 複雑な英雄像	
5	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』武帝 生きすぎた皇帝の悲劇	
6	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』皇后たちと公主たち 宮廷権力闘争	
7	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』皇后たちと公主たち 宮廷権力闘争	
8	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』李広・衛青ら 将軍たち	
9	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』賈誼 民本と民主	
10	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』張湯 権力に憑かれた男	
11	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』韓信 建国功臣	
12	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』游侠列伝 仁侠者たち	
13	文法・文型の基礎を学ぶ。『史記』と司馬遷	
14	文法・文型のまとめ。	
15	よく用いる表現のまとめ(30分)。実際に聴き、話すことができるかを問う検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1. 授業中、講義内容に関して考察したことを記述、提出する(計八回程度 50%)。出席点はとくに考慮しないが、上記の提出回数が総提出回数の半数以下の者は単位認定の対象外とする。 1検証テスト 中国語の文を聴いて理解し、正確に返答できるかを問う(50%)。

-----  
このクラスの成績評価はC・Fのみである。

**受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**

**教科書 / Textbooks**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
音読したい中国語・初級	崎原麗霞 / 朝日出版社 / 978-4-355-45176-3 /

-----  
必携。必ず入手し、授業に持参することが、及第の条件です。

**参考書 / Reference Books**

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語はじめの一步	木村英樹 / 筑摩書房 / 448005661 /
中国語入門Q & A 101	相原茂ほか / 大修館書店 / 4-469-23225-4 /

**参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

**教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff**

yjiuwei@yahoo.co.jp

**その他 / Others**

## 授業の概要 / Course Outline

発音や基本的な文法、使える文型など、中国語の基礎的な技術を習得しながら、現在の社会の成り立ちとかかわる根本的な要素について考える。

中国の存在が世界経済に甚大な影響を与えていること、そして日本が中国と協同していくことが、日本の安寧に有益であること、それは誰もが理解する当然のことである。しかし、日本は中国と近く、中国文化から受けた影響が深く、さらにさまざまな歴史的経過に縛られる故に、複雑な感情を中国に抱き、しばしば予断と偏見におちいりがちである。わかっていると思ひこむようで実は誤解だらけ、そのような現状を突破するために、あえて中国の古典から考察することを試みる。後期は『三国志』、小説『演義』は日本においても人口に膾炙し、登場する人物は思い入れを持って語られるが、実はどのように描かれているか。いまなお中国人の思惟の背景に大きな影響を与える著作から、「原中国」の姿に触れてみる。

## 到達目標 / Attainment Objectives

発音を復習し、相手に通じる発音ができるようになる。  
文型と文法の基礎を習得し、それをを用いて聞く・はなすことに慣れる。  
中国の文化と社会の基本的な成り立ちについて認識する。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業方法に関する相談、発音練習。中国基本情報。	
2	発音練習 ピンイン・鼻音。あいさつの基本。	
3	テキスト第1課 文法と文型を学び、会話練習をする。三国志・曹操	
4	テキスト第1課 文法と文型を学び、会話練習する。三国志・曹操	
5	テキスト第2課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・孫権	
6	テキスト第2課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・孫権	
7	テキスト第3課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・劉備。	
8	テキスト第3課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・劉備。	
9	テキスト第4課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・諸葛孔明。	
10	テキスト第4課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・諸葛孔明。	
11	テキスト第5課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・関羽	
12	テキスト第5課 文法と文型を学び、会話練習。三国志・関羽	
13	テキスト第6課 文法と文型を学び、会話練習。三国志について	
14	文法・文型のまとめ。	
15	主要な表現のまとめ(30分)。検証テスト(60分)、発問を聞き正確に答えられるかを問う。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1. 授業中、講義内容に関して考察したことを記述、提出する(計八回程度 50%)。出席点はとくに考慮しないが、上記の提出回数が総提出回数の半数以下の者は単位認定の対象外とする。 1検証テスト 中国語の文を聴いて理解し、正確に返答できるかを問う(50%)。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

ともだち・朋友 スリム版1

董燕・遠藤光暁 / 朝日出版社 / 978-4-255-45189-3 /

-----  
必携。必ず入手し、授業に持参してください。

参考書 / Reference Books

授業にて紹介します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

yjiuwei@yahoo.co.jp

その他 / Others

## 朝鮮語と社会I(単位回復)(Z1)

12124

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

文字と発音からはじめ、文法の基礎的なところから、易しい日常会話を学習していきます。さらに韓国の社会や文化にも触れていくことによって異文化の理解を深める。

## 到達目標 / Attainment Objectives

まずは文字からです。ハングルが読めるようになります。そして、基礎的な文法を学びつつ、やさしい会話を学習します。さらに、韓国のドラマや映像資料も取り入れ、社会や文化を理解します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要・文字と発音	あいさつ言葉
第2回目	文字と発音	
第3回目	文字と発音	
第4回目	発音の変化	
第5回目	指定詞、指示詞	韓国の食事作法
第6回目	丁寧形 (ハムニダ体)	秋夕とお正月
第7回目	疑問詞、存在詞	韓国の伝統遊び
第8回目	丁寧形 (ヘヨ体)	伝統衣装(韓服)
第9回目	丁寧形 (ヘヨ体)	韓国人の感情表現
第10回目	用言の変則活用	韓国人の姓
第11回目	過去形	キャンパスライフ
第12回目	過去形	祝日と記念日
第13回目	接続語尾	教育制度と大学入試
第14回目	数詞	韓国常識クイズ
第15回目	到達度検証テスト(60分)と解説(30分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト:40 % 日常点(文型応用の作文の提出・小テスト):40% その他(出席と授業態度):20%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

復習をすること。

## 教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

kiminheejp@hotmail.co.jp

## その他 / Others



## 朝鮮語と社会II(単位回復) (Z1)

12139

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

文字と発音からはじめ、文法の基礎的なところから、易しい日常会話を学習していきます。さらに韓国の社会や文化にも触れていくことによって異文化の理解を深める。

## 到達目標 / Attainment Objectives

まずは文字からです。ハングルが読めるようになります。そして、基礎的な文法を学びつつ、やさしい会話を学習します。さらに、韓国のドラマや映像資料も取り入れ、社会や文化を理解します。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要・文字と発音	あいさつ言葉
第2回目	文字と発音	
第3回目	文字と発音	
第4回目	発音の変化	
第5回目	指定詞、指示詞	韓国の食事作法
第6回目	丁寧形 (ハムニダ体)	秋夕とお正月
第7回目	疑問詞、存在詞	韓国の伝統遊び
第8回目	丁寧形 (ヘヨ体)	伝統衣装(韓服)
第9回目	丁寧形 (ヘヨ体)	韓国人の感情表現
第10回目	用言の変則活用	韓国人の姓
第11回目	過去形	キャンパスライフ
第12回目	過去形	祝日と記念日
第13回目	接続語尾	教育制度と大学入試
第14回目	数詞	韓国常識クイズ
第15回目	到達度検証テスト(60分)と解説(30分)	

## (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

## (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト:40 % 日常点(文型応用の作文の提出・小テスト):40% その他(出席と授業態度):20%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

復習をすること。

## 教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

## 参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級ハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / /

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

kiminheejp@hotmail.co.jp

## その他 / Others

## 朝鮮語と文化I(単位回復)(Z1)

13332

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

当講義は語学単位回復科目として設定されており、朝鮮語、朝鮮文化の理解を目指す。朝鮮語の基礎的知識を身につけ朝鮮語に対する理解を求め、また視聴覚教材を活用しながらの朝鮮の文化との接触を通して、受講生の朝鮮文化への理解を深めるものとする。毎回、授業の前半は韓国語を学習し、授業の後半は韓国の文化について学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1.朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
- 2.基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	・ガイダンス(授業の説明、評価方法など)・朝鮮語に関する一般知識	
2	朝鮮語の文字、ハングルの理解1(母音の製作原理と正確な発音)	
3	朝鮮語の文字、ハングルの理解2(子音の製作原理と正確な発音)	
4	朝鮮語の文字、ハングルの理解3(子音と母音の組み合わせと複合母音)	
5	ハングル文字のまとめと復習	
6	基本文法1(文章の終結語尾)	
7	基本文法2(基本文型の理解)	
8	基本文法3(尊敬語と朝鮮の敬老思想)	
9	基本文法4(朝鮮語の数詞)	
10	基本文法5(時制と連体形)	
11	決まり文句1(挨拶言葉、友達間の表現)	
12	決まり文句2(買い物に使われる)	
13	決まり文句3(ビジネスに使われる表現)	
14	朝鮮語の慣用的表現からみる朝鮮人の考え方	
15	到達度確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席40% 確認テスト・小テスト(複数回)60%

このクラスの成績評価はC・Fのみである

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 新幹社 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others

## 朝鮮語と文化II(単位回復) (Z1)

15980

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 2

## 授業の概要 / Course Outline

当講義は語学単位回復科目として設定されており、朝鮮語、朝鮮文化の理解を目指す。朝鮮語の基礎的知識を身につけ朝鮮語に対する理解を求める。また視聴覚教材を活用しながらの朝鮮の文化との接触を通して、受講生の朝鮮文化への理解を深めるものとする。毎回、授業の前半は韓国語を学習し、授業の後半は韓国の文化について学ぶ。

## 到達目標 / Attainment Objectives

- 1.朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
- 2.基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

## 履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

## 授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	・ガイダンス(授業の説明、評価方法など)・朝鮮語に関する一般知識	
2	朝鮮語の文字、ハングルの理解1(母音の製作原理と正確な発音)	
3	朝鮮語の文字、ハングルの理解2(子音の製作原理と正確な発音)	
4	朝鮮語の文字、ハングルの理解3(子音と母音の組み合わせと複合母音)	
5	ハングル文字のまとめと復習	
6	基本文法1(文章の終結語尾)	
7	基本文法2(基本文型の理解)	
8	基本文法3(尊敬語と朝鮮の敬老思想)	
9	基本文法4(朝鮮語の数詞)	
10	基本文法5(時制と連体形)	
11	決まり文句1(挨拶言葉、友達間の表現)	
12	決まり文句2(買い物に使われる)	
13	決まり文句3(ビジネスに使われる表現)	
14	朝鮮語の慣用的表現からみる朝鮮人の考え方	
15	到達度確認テスト(60分)解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study  
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

## 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席40% 確認テスト・小テスト(複数回)60%

このクラスの成績評価はC・Fのみである

## 受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

## 教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-055-2 /

## 参考書 / Reference Books

## 参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

## 教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

## その他 / Others